



Title	後漢書音義音韻考（本論・資料表）
Author(s)	大島, 正二
Citation	北海道大學文學部紀要, 25(1), 1-90
Issue Date	1976-11-22
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/33402
Type	departmental bulletin paper
File Information	25(1)_PL1-90.pdf



後漢書音義音韻考

大 島 正 二

後漢書音義音韻考

大 島 正 二

1.0. 本稿は、唐・章懷太子李賢（A. D. 651-684）等による『後漢書音義』（A.D. 676成書¹⁾）の整理結果の一端に関する報告で、これ迄に発表した『漢書音義』『急就篇注』『史記索隱・正義』『晋書音義』などに関する拙論²⁾と共に唐代音研究の一環を成すものである。

以下、『後漢書音義』に散見する音注を『切韻』³⁾の体系に投影し、「ずれ」を示す音注例の中から、『切韻』では別字で表記される語を示すと解されるもの、或は『切韻』には採録されていない又音など個別の読音を示すと解されるもの、などを除き、音韻体系上の「ずれ」を示すと大略解される例のみを採って示す。尚、当該字の義注、或は文脈などは紙数の関係から省略し、末尾に付した資料表に譲る。併せてご覧いただきたい。

2.0. 声類

2.1. 『広韻』には、帛字の声母が重唇音である反切の上字として後に軽唇音化する声母（以下、軽唇音化声母と呼ぶ）が用いられている例が多いが、それが重唇音声母に改められている例

坏^{A)}〔広〕芳杯／普才⁴⁾（761下6）。務〔広〕武道／莫老（196上10, 784上17）。轡〔広〕武板／馬板（866下3）。坪〔広〕符兵／匹萌（849上11）。麓〔広〕武移／莫支（1271下15）。邨〔広〕符支／盤眉（416上15）。埤〔広〕符支／頻爾，皮彼（517下15）。鄙〔広〕方美／普美（867下5）。紕〔広〕符支／卑疑（1284下9）。𡵓〔広〕符悲／平眉（92下7）。𡵓〔広〕甫遙／必燒^{B)}（1351上11）。𡵓〔広〕亡沼／名小^{C)}（869下2）。𡵓〔広〕甫遙／必遙^{D)}（856上12）。𡵓〔広〕甫遙／必遙（869上10）。𡵓〔広〕扶歴／歩歴（870下13）。辟〔広〕芳辟／匹亦（602上9），頻亦

(51上9, 851上1, 877上17, 1120下16)。𦵏^{E)} [広] 甫焦／必由 (868上3)。悞 [広] 符逼／平逼 (1074下14)。幅 [広] 芳逼／普遍 (434上10)。𦵏 [広] 府廉／必廉 (1176下1)。便 [広] 房連／蒲堅 (1175上8)。扁 [広] 方典／皮殄 (849上9), 補典 (1265上4)。

- A) 『広韻』は「坯」に作る。
- B) 『広韻』は「藐」に作る。
- C) 亡小反の音注も見える (862上9)。
- D) cf. 資料表
- E) 孚逼反の音注も見える (75上17)。

上掲の様な例の見える一方、婦字の声母が重唇音である反切の上字に軽唇音化声母が用いられている例も見える。

○『広韻』でも軽唇音化声母が上字として用いられている例

𦵏^{A)} [広] 芳滅／芳烈 (1036上16)。杪 [広] 亡沼／亡小 (869上10)。𦵏 [広] 亡沼／亡小 (862上7)。

- A) 『広韻』は「藐」に作る。

○『広韻』では重唇音声母が上字として用いられている例

濛^{A)} [広] 莫孔／亡孔 (862上9)。撥 [広] 北末／方割 (861下15)。𦵏 [広] 莫候／亡溝 (404上18)。披 [広] 匹靡／芳靡 (812下10), 芳彼 (315上12)。𦵏 [広] 綿婢／亡爾 (161下15)。

- A) cf. 資料表 I 韻類・通撰・註2

2.2. 全濁声母と全清・次清声母との混同を示す例

2.2.1. 全濁声母と全清声母との混同例

○《並仄》《幫》両母混同の例

𦵏 [広] 薄故《並去》／補故《幫》 (846下13)。cf. 資料表 I 韻類・遇撰・註1

復 [広] 房六《並入》／音福^{A)}《幫》 (35上6, 86上16, 478下2, 1275下4)。cf. 資料表 III B 韻類・通撰・註1

- A) 或は軽唇音化声母《奉》《非》の混同と解されようか。

○《並平》《幫》兩母混同の例

^{A)}
剽〔広〕符霄《並》／方妙《幫》(1070下5, 6)。cf. 資料表 ⅢA韻類・效
攝・註1, 2

枹〔広〕防無《並》／音鉄《幫》(1290下1)。cf. 資料表 ⅢB韻類・遇攝・
註9

A) 『後漢書』(1070下5)に見える被注字は「標」(〔広〕撫招切又
匹妙切)であるが、『後漢書音義』の「方言曰標輕也、或作剽、劫財物
也、音同」に拠り「剽」字音に投影する。

{紕〔広〕符支《並》／卑疑⁵⁾《幫》(1284下9)}。cf. 資料表 ⅢA韻類・止
攝・註22

○《從平》《精》兩母混同の例

雌〔広〕昨焦《從》／音焦《精》(593上16)。cf. 資料表 ⅢA韻類・效攝
・註4

○《羣仄》《見》兩母混同の例

懼〔広〕其遇《羣去》／九具《見》(457上15, 667下13), 紀具《見》(654上
5), 紀住《見》(441上15)。cf. 資料表 ⅢB韻類・遇攝・註18, 19, 20

2.2.2. 全濁声母と次清声母との混同例

○《從仄》《清》兩母混同の例

箝〔広〕秦昔《從入》／七亦《清》(870下2)。cf. 資料表 ⅢA韻類・梗
攝・註2

○《羣仄》《溪》兩母混同の例

己〔広〕墟里《溪》／其紀《羣上》(238下8), 求紀《羣上》(118上13,
281上11)。cf. 資料表 ⅢA韻類・止攝・註36, 37

2.3. 《泥》《娘》兩母の混同を示す例

赧^{A)}〔広〕奴板《泥》／女板《娘》(936下6)。cf. 資料表 Ⅱ韻類・山攝・註86

豹〔広〕女滑^{A)}《娘》／奴八《泥》(1259下1)。cf. 資料表 Ⅱ韻類・山攝・
註3

{譏〔広〕女交《娘》／奴交《泥》(1162上2)}。cf. 資料表 Ⅱ韻類・效攝・

註1

A) 『後漢書』に見える被注字は「紹」(〔広〕都聊切)であるが、「標点本」〈校勘記〉(cf. 資料表 II 韻類・山攝・註3)に拠り「納」字音に投影する。

2.4. 齒頭音系列に於ける全濁声母《從》《邪》の混同を示す例

雋〔広〕徂 兗《從》／似 兗^{A)}《邪》(1126下8)。cf. 資料表 III A 韻類・山攝・註7

A) 本例に於ける「雋」の義は『広韻』に見える義注と異なるが、撰者は同じ語(下雋, 縣名, 屬長沙國…(368上16))に字兗反《從》とも音注しているので、両母混同の例として挙げる。

2.5. 正齒音三等系列に於ける全濁声母《船(牀三)》《常(禪三)》の混同を示す例

杼〔広〕神與《船》／是與^{A)}《常》(574下16)。cf. 資料表 III B 韻類・遇攝・註6

舐^{B)}〔広〕神帑《船》／音是《常》(171上18)。cf. 資料表 III A 韻類・止攝・註9

A) 本例に於ける「杼」の義は『広韻』に見える義注と異なるが、撰者は同じ語(杼秋, 縣名, 屬梁國…(295上14))に食汝反《船》とも音注しているので両母混同の例として挙げる。⁶⁾

B) 『後漢書』に見える被注字は「恬」(〔広〕下刮, 火怪, 火夫三切)であるが、語義に拠り「舐」字音に投影する。cf. 『洪武正韻』

2.6. 切韻に於ける二等韻開口牙音字の反切上字に三等韻字の用いられている例

間〔広〕古覓／居覓^{A)}(491上18)。

A) 古覓反の音注も見える(601上9)。付言すれば、「標点本」は何れも上字を「古」に作る。

3.0. 韻類

3.1. 『切韻』に於ける二等重韻の通用を示す例

○《佳》《皆》兩韻通用の例

債^{A)}〔広〕側賣《佳 開去》／側界《皆 開去^{B)}》(490上3)。cf. 資料表 II 韻類・蟹摂・註6

A) 『後漢書』に見える被注字は「責」(〔広〕側革切)であるが、朱駿成『説文通訓定声』の「責…俗字作債」に拠り「債」字音に投影する。

B) 撰者は同じ語に側解反《佳 開去》(750下8)とも音注している。

cf. 資料表 II 韻類・蟹摂・註3

○《刪・鎋》《山・黠》兩韻通用の例

辱〔広〕士限《山 開上》／仕顏《刪 開》(1269上14)。cf. 資料表 II 韻類・山摂・註2

𪔐〔広〕士限《山 開上》／仕板《刪 上》(596上3)。cf. 資料表 II 韻類・山摂・註5

{𪔐〔広〕下刮《鎋 合》／胡八《黠》(744上3)}。cf. 資料表 II 韻類・山摂・註4

○《庚》《耕》兩韻通用の例

𪔐〔広〕北萌《耕 開》／必衡《庚 開》(799上15)。cf. 資料表 II 韻類・梗摂・註1

𪔐〔広〕虎橫《庚 合》／火宏《耕 合》(596上6)。cf. 資料表 II 韻類・梗摂・註6

{𪔐〔広〕符兵《庚 開》／匹萌《耕 開》(849上11)}。cf. 資料表 II 韻類・梗摂・註4

○《銜》《咸》兩韻通用の例

𪔐〔広〕仕陷《銜 去》／仕鑒《咸 去》(1002上17, 1148上2)。cf. 資料表 II 韻類・咸摂・註3

3.2. 『切韻』に於ける四等韻と三等韻 甲 との通用を示す例

○《宵 甲》《蕭》兩韻通用の例

燎〔広〕力照《宵 去》／力弔《蕭 去》(27下15)。cf. 資料表 IV 韻類・效

撰・註3

○《仙_甲・薛_甲》《先・屑》兩韻通用の例

濺〔広〕子賤《仙_{開去}》／子見《先_{開去}》（188上4）。cf. 資料表 IV韻類・

山撰・註3

{便〔広〕房連《仙_開》／蒲堅《先_開》（1175上8）}。cf. 資料表 IV韻類・

山撰・註1

3.3. 通撰の《東_三》《鍾》兩韻の通用を示す傍証例

{充〔広〕昌終《東_甲》／昌容《鍾_甲》（368下1），音衡《鍾_甲》（1269上17）}。cf. 資料表 III B韻類・通撰・註6, 7

3.4. 遇撰の《魚》《虞》兩韻の通用を示す例

諏〔広〕子于《虞_乙》／子余《魚_甲》（71上16）。cf. 資料表 III B韻類・遇撰・註2

吁〔広〕況于《虞_乙》／音虛《魚_乙》（235下1）。cf. 資料表 III B韻類・遇撰・註8

柜〔広〕居許《魚_{上・乙}》／音矩《虞_{上・乙}》（867上7）。cf. 資料表 III B韻類・遇撰・註17

3.5. 止撰諸韻の通用を示す例

○《支》《脂》兩韻通用の例

邨〔広〕符羈《支_{開・乙}》／盤眉《脂_{開・乙}》（416上15）。cf. 資料表 III A韻類・止撰・註15

麓〔広〕武移《支_{開・甲}》／音麋^{A)}《脂_{開・乙}》（339上11）。cf. 資料表 III A韻類・止撰・註18

羸〔広〕力爲《支_{合・乙}》／力隹《脂_{合・甲}》（286上1）。cf. 資料表 III A韻類・止撰・註44

崕〔広〕魚爲^{B)}《支_{合・乙}》／魚軌《脂_{合上・乙}》（866下11）。cf. 資料表 III A韻類・止撰・註48

絶〔広〕馳僞《支_{合去・乙}》／直類《脂_{合去・甲}》（1046下6）。cf. 資料表 III A韻類・止撰・註45

A) 撰者は同じ語（徵側者，薨冷縣維將之女也）に莫支反《支開・甲》（1271下15）とも音注している。

B) 本例に於ける「峴」の義は『広韻』に見える義注と異なるが、撰者は同じ語に（峻峴謂山也）魚委反《支合上・乙》（759上2）とも音注しているので、両韻通用の例として挙げる。

○《支》《之》両韻通用の傍証例

{觜〔広〕姉宜《支開・乙》／子期《之乙》（1166上3）}。cf. 資料表 ⅢA 韻類・止摂・註25

{紕〔広〕符支《支開・甲》／卑疑《之乙》（1284下9）}。cf. 資料表 ⅢA 韻類・止摂・註22

{麗〔広〕呂支《支開・甲》／力之《之甲》（439下18）}。cf. 資料表 ⅢA 韻類・止摂・註23

○《脂》《之》両韻通用の例

潰〔広〕直几《脂開上・乙》／直理《之上・中》（21下11）。cf. 資料表 ⅢA 韻類・止摂・註24

事〔広〕側吏《之去・中》／側利《脂開去・中》（858上13）。cf. 資料表 ⅢA 韻類・止摂・註20

四〔広〕虚器《脂開去・乙》／許吏《之去・中》（857上3）。cf. 資料表 ⅢA 韻類・止摂・註39

{台〔広〕與之《之甲》／音夷《脂開・甲》（124上7）}。cf. 資料表 ⅢA 韻類・止摂・註21

○《脂》《微》両韻通用の例

獐〔広〕虚器《脂開去・乙》／許既《微開》（757下4）。cf. 資料表 ⅢB 韻類・止摂・註2

埤〔広〕于鬼《微合上》／于匱《脂合上・乙》（1008下18）。cf. 資料表 ⅢA 韻類・止摂・註49

○《之》《微》両韻通用の例

豨〔広〕虚豈《微開上》／虚起《之上・乙》（869上5）。cf. 資料表 ⅢA 韻

類・止摂・註38

斬〔広〕渠之《之・甲》音祈《微 開》（297下9）。cf. 資料表 ⅢB 韻類・

止摂・註1

意^{A)}〔広〕許記《之・乙》／許氣《微 開去^{B)}》（638下3）。cf. 資料表 ⅢB 韻

類・止摂・註3

A) 『後漢書』に見える被注字は「喜」《〔広〕虚里切》であるが、朱駿成『説文通訓定声』「喜假借爲意…」に拠り「意」字音に投影する。

B) 撰者は同じ語（俗喜歌舞（1275下12），並喜譏議（369下1），操懷不喜（1230下16））に虚記反《之・乙》（1275下12），許吏反《之・甲》（369上1，1230下16）とも音注している。

4.0. 以上が『後漢書音義』に散見する音注の内、『切韻』と音韻体系上の「ずれ」を示すと一往解される例である。そして、其等は何れも、紙数の関係から詳説は控えるが、これ迄の音義類に関する拙論で指摘した特徴と性格を齊しくするものと言えよう。そしてこの事実、上掲小論でも触れた様に、唐儒等に行なわれていた字音が『切韻』の拠った規範と同時的に併存していたとの推測を許すものではないであろうか。

尚、拙論「晋書音義音韻考」でも述べた様に、唐代字音の基盤を明らかにするためには、上に示した様な「投影法」に拠る整理と共に、他の音義資料との比較対照研究も亦必要であり、両者が相俟って唐代字音の研究は一層肌理の細かいものとなるであろう。その様な意味からも、本稿は他の拙論と同じく、資料の整理結果の一端に関する報告に過ぎず、今後の研究に俟つところも少なくない。

（昭和50年度文部省科学研究費による研究の一部）

註

- 1) 南朝宋・范曄撰『後漢書』本紀10巻及び列伝80巻に散見する李賢等の音義注の便宜的総称である。尚、本稿ではテキストとして、百衲本二十四史所収南宋紹興刊本『後漢書』商務印書館、1958.を用い、必要に応じて、標点本『後漢書』中

華書局, 1973 (上海). 以下「標点本」と略称. を参照した。

- 2) 「顔師古漢書音義韻類考」『言語研究』59, 1971. 「顔師古漢書音義の研究 (上) (下)」『北海道大学文学部紀要』17-1, 1969. 19-4, 1971.
「顔師古急就篇注音韻考」『北海道大学文学部紀要』22-1, 1974.
「史記索隱・正義音韻考」『東洋学報』55-3, 1972. 「同——資料表——」『北海道大学文学部紀要』21-2, 1973.
「晋書音義音韻考」『東洋学報』56-2・3・4, 1975. 「同——資料表——(上) (下)」『北海道大学文学部紀要』24-1, 1975. 24-2, 1976.
- 3) 以下, 細部を除き, 『広韻』(周祖謨『広韻校本附校勘記』中華書局, 1960) を以て『切韻』に代用させる。
- 4) 当該音注例のテキストに見える個所。761頁上段6行目の意。以下同様。
- 5) 『広韻』の義注とは合致しないが, 音韻体系上の「ずれ」が, 音韻変遷に添った様相を呈する音注は傍証例として { } 内に入れて示す。
- 6) 同じ語の音形はいつも同じであるのが原則である。従って, 同じ語の音を表わすために用いられた文字は文字が違っていても同音と考えられるから, 本稿で扱う様な断片的音韻資料に見えるこの様な例は貴重である。
- 7) 丁福保編『說文解字詁林及補遺』台湾商務印書館, 1959. に拠る。
- 8) 上掲論文, pp. 200-201.

資料表

凡例

1. この表は、李賢等『後漢書音義』に見える音注を『広韻』の体系に準拠して整理・配列したものである。
 2. 配列の方法・順序は次の如くである。
 - 2.1. 韻類を便宜上、Ⅰ・Ⅱ・ⅢA・ⅢB・Ⅳの5類に大別する。

Ⅰ韻類：東₁屋₁・冬沃・模・咍・泰・灰・痕没・魂没・寒(桓)曷(木)・豪・歌・戈₁・唐鐸・侯・登德・覃合・談盍の諸韻より成る。

Ⅱ韻類：江覺・佳・皆・夬・刪鑑・山黠・肴・麻₂・耕麦・咸洽・銜狎の諸韻より成る。

ⅢA韻類：支・脂・之・祭・真(諄)質(術)・臻櫛・仙薛・宵・麻₃・清昔・庚₃・陌₃・蒸職・幽・侵緝・塩葉の諸韻より成る。

ⅢB韻類：東₃屋₃・鍾燭・微・魚・虞・廢・欣迄・文物・元月・戈₃・陽業・尤・敬業・凡乏の諸韻より成る。

Ⅳ韻類：青・先屑・蕭・青錫・添帖の諸韻より成る。

尚、ⅢA韻類は、声母が唇・牙喉音(但し干母は除く)で韻図の四等欄に配されているものには甲の、同じく三等欄に配されているものには乙の小字を付して区別する。本表ではこれを声母に付して示す。
 - 2.2. 各韻類を十六韻攝に従い分類する。
 - 2.3. 各韻攝内に於て韻部に分類し、縦欄に韻目を平・上・去・入の順に配す。
 - 2.4. 各韻攝内に於て横欄に声母を配す。
- 声母名及び配列の順序は次の如くである。
- | | |
|--------------------|-----------------|
| 唇音 | 幫・滂・並・明 |
| 舌音 { | 端・透・定・泥・來 |
| 舌頭音 | 知・徹・澄・娘 |
| 舌上音 | |
| 齒音 { | 精・清・從・心・邪 |
| 齒頭音 | |
| 正齒音 _二 等 | 莊・初・崇・生・俟 |
| 正齒音 _三 等 | 章・昌・船・書・常・日・羊 |
| 牙喉音 | 見・溪・羣・疑・曉・匣・影・于 |
3. 表中に音注を配する場所は、音注字の音が『広韻』の音韻体系に於て占める位置に拠る。それが歸字の音の『広韻』の音韻体系に於て占める位置と一致しない場合には注記する。見える音注の延べ回数(但し2以上)を記す。
 - 3.1. 注記は、当該音注が「百衲本」に見える頁・段・行・歸字の『広韻』に見える

反切、歸字の韻図に占める位置（声母・韻目・開合・等位）、をこの順に示す。

3. 2. 『広韻』の体系と「ずれ」を見せる字の内の、

(1) 意味上、それ等の仮借字と解されるものが求められる場合にはその仮借字を*印を左肩に付して示す。

(2) 『広韻』には見えない又音と解される場合にはその旨を記す。

(3) 本論で扱われている例については本論で見える場所を矢印の次に記す。

4. 『広韻』には見えない文字は{ }内に入れる。又、『広韻』で別の字体に作るもの、「標点本」で別の字体に改めてあるものなどについては、当該字の表中に見える個所に注記する。

I 韻 類

通 攝

	東	董	送	屋
明		莫孔 蒙 ¹⁾ 亡孔 龐 ²⁾	・広韻「龐」は作る。	
端 透 定 泥 来	音通 桐	音董 竦 奴董 纒	音洞 桐 調	音鹿 谷 ₂
精 清	子公 炎		子弄 僊 七洞 認	
見 溪	音工 釭		音貢 贛 ₂ 口弄 倥	

匣		胡孔 瀕		
影		烏董 滂		

	冬		宋	沃
定	徒冬 佟 大冬 佟			
從	才冬 寔			
見				古督 楷 古酷 楷

(1) 蒙 (幾蒙氣也 861上15) [ㄉ] 莫紅切 (明東開一)。

(2) 龐 (本文: 踰龐瀕於宅冥兮 <注> 孝經援神契曰天度濛瀕, 宋均注云濛瀕未分之象也, 862上9) [ㄉ] 龐, 莫江切 (明江開一)。* 濛 [ㄉ] 莫孔切 (明董開一)。cf. 『後漢書音義』注。

遇 攝

	模	姥	暮	
幫 滂	補胡 哺	音普 溥	補故 鋪 ¹⁾	
透 定	他胡 徐		徒故 斲 音屠 {屠}	
來	音盧 顧 ²⁾			

精 清	資都 籜		七故 錯 ⁵	
見		公戶 蠱 音古 罟 賈 詒	古度 詒 ²⁾ 音固 罟 罟	。玄韻「籜」に作る。 。標点本「籜」に作る。 。[校勘記]據前書 地理志改。
疑	音吾 梧		五故 罟 ³⁾ 選 選 音梧 梧 ⁴⁾	。玄韻「罟」に作る。 。玄韻「選」に作る。
曉 匣	音呼 撫 ⁵⁾	音戶 苦 ⁶⁾ 扈	胡故 迂 嫪 ²⁾	。玄韻「迂」に作る。 。玄韻「嫪」に作る。
影	音烏 惡 ³⁾ 於 ⁴⁾	烏古 鳩	烏故 鳴 ⁷⁾ 惡 一故 鳴 ⁸⁾	

- (1) 鋪 (謂食也 846下13) [玄] 博孤切 (幫模合一) 說文云申時食也。又音步 (並暮合一) → 《声類》
- (2) 詒 (說文曰詒訓古言也 534下10) [玄] 公戶切 (見燒合一)。* 故 [玄] 古慕切 (見暮合一)。。[許慎]『讀說文記一卷』。
- (3) 罟 (錯罟猶倉卒也 623下5) [玄] 「罟」五各切 (疑鐸開一)。
- (4) 梧 (支梧也謂支着車也 868下9) [玄] 五乎切 (疑模合一)。* 選 [玄] 五故切 (疑暮合一)。。[漢書]如淳注。
- (5) 撫 (大也 1173下16) [玄] 文甫切 (明慶合三) 又武夫切 (明慶合三)。* 撫 [玄] 荒烏切 (曉模合一)。。[朱駿成]『說文通訓定聲』。

- (6) 苦 (苦縣屬陳國 135下12) [玄]康杜切(溪姥合一)又苦故切(溪暮合一).
 (7) 鳴 (陰陽猶啞塞也... 喝音一介反或作鳴... 354上6) [玄]哀都切(影模合一).
 (8) 鳴 (本文:未嘗不噫鳴流涕<注>歎傷之貌也 670下6) [玄]母切(7).

蟹 攝

	咍	海	代	
滂	普才 坏	。玄韻「坏」i:作ɤ.		
透	音台 釐 ¹⁾ 郃			
定	達來 駘	音殆 給 駘		
泥			乃代 耐	
從			才代 裁 才載 載	
昌		昌改 菴		
見	音該 菱 ²⁾			
溪	音開 闐			
疑	牛哀 磴 ²⁾ 五來 磴 ³⁾		五代 闐 五愛 磴	

			泰開	
滂			普蓋 沛 片害 沛	

端			丁外 °殺 音帶 躑	。百納本は「殺」に作る。 が標点本に従い改める。 又、[校勘記]按「殺」厚譌「殺」還改正。
定	大蓋 欽 音大 軌 音伏 軌			
見			音蓋 °勾 苦蓋 °磔	。広韻「勾」に作る。 。広韻「磔」に作る。

	灰	賄	隊	
幫			音輩 背	
明			音昧 𨾏 ⁴⁾	
定			徒對 對 大對 慙	
泥		乃罪 °腰	。広韻「腰」に作る。	
来		盧罪 磔	力對 磔	
清		千隄 灌		
從	徂回 崔 。隄	。広韻「崔」に作る。		
見			°吉 誨 箇	。標点本「古」に改める。 又、[校勘記]按、張森 楷校勘記謂吉箇不同 母、不得用爲反切。據 廣韻古對切、集韻古
溪	口回 悝 音恢 悝			

匣		胡罪 鹿 ₂		獲切疑此「吉」字亦「古」字之誤。今據改。
影	壹回 煨	於罪 萎 ⁵⁾		
		音隈 礨		

			泰合	
端			丁外 役 ₂	
透			它外 蛻	
來			力外 酹	
見			古會 旌	
			工外 詹	

- (1) 釐 (本文:到官至釐亭 1199下2) [玄]落哀切(來哈開一)又力知切(來之開三)。
- (2) 磴 (本文:行積冰之磴磴令<注>世本云公輸作石磴,說文曰皚皚霜雪之貌也,蓋古字磴與皚通 859上3) [玄]五灰切(疑灰合一)又五內切(疑隊合一)。*皚 [玄]五來切(疑哈開一), cf. 『後漢書音義』注。
- (3) 磴 (本文:金山石林殷起乎其中峨峨磴磴錯錯雄雄<注>並高峻兒 866下11) [玄] cf. (2)。*皚 cf. (2)。
- (4) 棘 (本文:四夷之樂陳於門,故詩云以雅以南棘任朱離 749上15) [玄]莫拜切(明怪開二)。*昧 cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (5) 萎 (萎腰,與弱也 363下4) [玄]於爲切(影支合三)又於僞切(影真合三)。

臻 撮

	痕	很	恨	沒開
並			蒲良 {湊}	

	魂	混	恩	沒合
--	---	---	---	----

幫	音奔 貴 ₂			
並			蒲頓 玠 ¹⁾	
明	音門 璽 ₂			
端	音敦 惇			
透			。宏韻「惇」作「敦」。	他沒 ²⁾ 快
定	音屯 敦 ²⁾			
精		祖本 尊 ³⁾		
清				倉忽 卒 ₂ 千忽 卒 千訥 卒 七訥 卒 七忽 卒
心	音孫 殄			
見	音昆 緄 ⁴⁾ 猥	古本 緄 ₆		古沒 滑 音骨 渥 苦骨 骸
溪		苦本 悃		
匣	胡昆 鍾 戶昆 沅	胡本 輝 音混 {眩}		

(1) 玠 (說文曰玠塵也 1265下13) [本] 扶問切 (並問合三) 又房粉切 (並吻合三)。

(2) 敦 (亦積聚也 867下4) [本] 都昆切 (端魂合一) 又都困 (端恩合一) 度官 (定桓合一) 都回 (端灰合一) 三切。*屯 參 高翔麟『說文字通』。

(3) 尊 (本文：沛獻尊節楚美流放 <注> 禮記曰恭敬擇節 鄭玄注云擇趨也 64/上11) [本] 祖昆切 (精魂合一)。*擇 [本] 茲揄切 (精混合一)。參『後漢書音義』注。

(4) 緄 (本文:有子ハ人儉緄蹟棄… 908下2)〔玄〕古本切(是混合一).

山 摂

	寒	旱	翰	曷
幫 並 明	薄寒 蟠 莫干 塤 莫寒 橘			方割 撥 摩葛 侏
端 定 來	徒丹 擇 音壇 囂 ²⁾	力亶 嬾	音旦 姐 ¹⁾ 徒旦 澶 。玄韻「嬾」に作る。	丁達 烜 力達 刺 力割 刺
心				音薩 繫
溪 疑 匣	苦寒 刊		五旦 犴 ³⁾ 音岸 研 ³⁾ 犴	胡達 駢 音曷 害 ⁴⁾

	桓	緩	換	末
幫		卜滿 般 ⁵⁾ ₂		

滂並	音潘 番 ² 音盤 幣 番	補滿般 ⁶⁾	○百納本は「妖」に作るが標点本に「い改める」 ○[校勘記]集解引沈欽韓說謂「妖」乃「斌」之譌。按、下云妖非題也。音步末反。則爲「斌」。字之譌無疑。今據改。	步末 斌 ³ 拔
端 透 泥 來	它官 端 力官 羅		奴喚 端	丁活 殺 掇 丁括 掇 丁末 姐 它末 達 ○玄韻「頃」に作る。
精		租緩鵠	作喚 鑽	
見 疑 曉 匣	五丸 園 火完 謹 戸官 萱 ○院 音丸 獮	音管 鹽 ² 瘡 下管 睨 ○玄韻「完」に作る。 ○玄韻「獮」に作る。	工與 憲 棺 古亂 棺 音瞿 鸞 ⁷⁾	音括 鵠 ²

- (1) 姐 (本文: 武王伐紂以姐己賜周公 1013下13) [本] 當寄切 (端昌開一) <『玄韻』に「見えない又音」> 丁未反又音旦。
- (2) 𪔐 (本文: 左挈變龍右提蛟𪔐 870上6) [本] 徒河切 (定歌開一)。
- (3) 𪔐 (三齊記載其歌曰南山𪔐白石爛生不遭免與舜禪 875下4) [本] 古旱切 (見旱開一) 又古案 (見翰開一) 侯盱 (匣翰開一) 二切。* 岸 味 『淺書』顏師古注。
- (4) 害 (何也 878上5) [本] 胡蓋切 (匣泰開一)。* 曷, 予 朱駿成 『說文通訓定聲』。
- (5) 般 (本文: 高翔字季回平原般人也 1151下3, 般縣故城在今德州平昌縣東 1187上4) [本] 北潘切 (幫桓合一) 又布還 (幫刪合二) 薄官 (並桓合一) 二切。
- (6) 般 (西平昌今德州般縣也 629下13) [本] 同 (5)。
- (7) 鸞 (鸞鳥縣名屬武威郡 137上18) [本] 落官切 (來桓合一)。

效 攝

	豪	皓	号	
幫 明		音保 𪔐 ¹⁾ 莫老 𪔐 ²⁾	・玄韻「𪔐」に作る。	
端 定 來	丁勞 𪔐 音刀 𪔐	音道 𪔐 ¹⁾	力到 勞 ²⁾	
從 心			才到 漕 新到 搔 ²⁾	
見 疑 曉 匣	公刀 咎 音高 𪔐 ²⁾ 五高 𪔐 火高 撓	古老 𪔐 ³⁾ ・玄韻「𪔐」に作る 音皓 𪔐	音告 浩 ³⁾	

影			於六 隩
---	--	--	------

- (1) 熹 (本文: 有子八人, 儉, 緄, 靖, 熹 ... 998下2) [左] 徒刀切 (定豪開一) 又徒到切 (定号開一).
- (2) 接 (本文: 夫邊垂之患, 子足之蚺接 1351上11) [左] 蘇遭切 (心豪開一). * 瘞 [左] 蘇到切 (心号開一). cf. 朱駿成『說文通訓定聲』.
- (3) 浩 (浩豐縣名, 屬金城郡 364上5) [左] 古沓切 (見合開一) 又胡老切 (匣暗開一).

果 攝

	歌	哿	箇	
幫	補何 婆		補佐 婆 ¹⁾	
滂	普何 陂 ²⁾			
並	步何 幡			
	步河 幡			
端	音多 蹄 ³⁾			
	{多}			
定	徒何 池	徒可 拖 ⁴⁾		
	佗	地 ⁵⁾		
	音駝 佗 ₂	徒我 地 ⁶⁾		
泥			乃賀 那	
來			力賀 羅 ⁷⁾	
精			音佐 左	
從	在何 鄮 ⁸⁾			
心		素可 娑		

疑	音蛾 眠	音我 峨 ⁹⁾	。玄韻「義」作。	
---	------	--------------------	----------	--

	戈	果	過	
並	音婆 蕃 ¹⁰⁾			
明	音摩 {擁}			
定		徒果 馨		
從			才臥 坐 ₂	
心	素和 蓑			
溪	苦戈 邁			
匣		和果 影		

- (1) 落 (本文: 娉落飛流, 纖羅絡繹 869上17) [玄] 博禾切(幫戈合一) x 薄波切(並戈合一)
- (2) 陂 (本文: 無爲山陵, 陂池裁令流水而已 47下15) [玄] 彼爲切(幫支開三) x 彼義切(幫真開三)。* 坡[?] [玄] 滂禾切(滂戈合一), 坡坂。
- (3) 躡 (前書曰: …八月大會躡林課校人畜計 1325下12) [玄] 當蓋切(端泰開一) x 直例切(澄祭開三)。<『玄韻』: 見いい又音> 音帶又音多。
- (4) 拖 (說文曰拖曳也 575上15) [玄] 吐邁切(透箇開一)。cf. 陀 [玄] 託何切(透歌開一) 曳也俗作拖。
- (5) 柁 (船尾也 731上11) [玄] 弋支切(羊支開四) x 池爾切(澄紙開三)。* 柁 [玄] 徒可切(定蟹開一)。cf. 沈兼士『唐韻聲系』, 案柁內府本王韻作柁。
- (6) 柁 (柁可以正船也 1177上18) [玄] cf. (5)。* 柁 cf. (5)。
- (7) 羅 (本文: 皆領部衆爲郡縣僕羅耳目 1327下18) [玄] 魯何切(來歌開一)。
* 邏 [玄] 郎佐切(來箇開一)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (8) 鄧 (今亳州縣也 206上14) [玄] 則吁切(精翰開一) x 在丸切(從桓合一)。
* 鄧 [玄] 昨何切(從歌開一)。cf. 『集韻』。
- (9) 峨 (業峨, 高也 591下11) [玄] 「義」五何切(疑歌開一)。
- (10) 蕃 (本文: 帝至蕃去憲所百餘里 207上14) [玄] 附袁切(並元合三) x 甫煩切(幫

元合三).

宕 攝

	唐開	蕩開	宕開	鐸開
滂 並 明	普郎 磅	蒲朗 並 ¹⁾ 音莽 滂 ₂	蒲浪 並 ²⁾	音莫 鎬 鄭
端 透 定 來	音當 鎗 徒郎 邊 ⁴⁾ 音郎 礪 稂 銀	佗朗 黨 ³⁾ 帑 它蕩 曠 它朗 帑 它莽 帑	丁浪 當 音湯 蕩 音蕩 盪	音託 囊 ₂ 度洛 囊 ⁵⁾ 大各 度 ₂
精 從		子朗 駟	音莽 驕 ⁶⁾	音昨 竿
見 溪	音剛 亢 音康 硿 ⁷⁾		口浪 郊	

疑			口羣 伉	
曉			音抗 伉	
匣	胡郎 行	胡朗 沆	音亢 亢	五各 𠂔
影	°杭	°玄韻「航·杭」以作。		火各 鄩
		烏朗 決		於各 聖
		映		

	唐合	蕩合	宕合	鐸合
見	音光 橫			音郭 嶂 ²
匣		胡廣 濶 ⁸⁾		
影	烏光 汪			

- (1) 並 (並猶且也 1230上4) [玄] 蒲迴切 (並迴合四)。
 (2) 並 (本文:得牛馬羊萬頭穀數萬斛因並河揚威武伺候車駕 349下14) [玄] of (1)。
 (3) 黨 (本文:黨同文昭之德豈不大哉 954上9) [玄] 多朗切 (端蕩開一)。
 (4) 遄 (本文:爛漫麗靡貌以遄遄 862上7) [玄] 徒浪切 (定宕開一)。
 (5) 蒙 (本文:初北夷索離國王出行 <注>索或作蒙 1259上9) [玄] 他各切 (透鐸開一)。
 (6) 髒 (抗髒高亢倬直之貌也 1177下9) [玄] 子朗切 (精蕩開一)。
 (7) 硃 (硃磬雷聲也 862上8) [玄] 苦浪切 (溪宕開一) 又客庚切 (溪庚開二)。
 (8) 濶 (本文:濶濶濶濶 <注>並水兒也 870上16) [玄] 烏晃切 (影蕩合一)。* 混 [玄] 胡廣切 (匣蕩合一)。cf. 『集韻』。

流 攝

	侯	厚	候	
並 明	亡溝 瞽 ¹⁾	音部 部	音茂 瞽 鄧 袤	
透 定 泥 來	通侯 媮 音投 掄 力侯 樓 音婁 樓 ²⁾ 膜		音豆 逗 脰 乃豆 櫛 ³⁾	。玄韻「擣」に作る。
精 清	子侯 掇		子豆 走 音奏 走 音湊 簇	
見 溪 曉	古侯 句 ²⁾ 音鉤 句 。杓 。標点本は「掇」に作る。	音口 金口 ²⁾	工候 鉤 ³⁾ 火豆 詢 詒	

匣 影	音侯 鉅	一口 區	許豆 詬 ₂
	音謳 樞 ⁴⁾		許邁 詬 胡豆 後

- (1) 贅 (亂也 404上18) [玄]莫侯切(明侯開一)又莫角切(明覺開二)。
 (2) 淩 (水名源出今澧州崇義縣西北山 70上3) [玄]力主切(來慶合三)又郎斗切(來厚開一)。
 (3) 鈞 (鈞猶動也 686上1) [玄]古侯切(見侯開一)。
 (4) 樞 (又序曰山有樞刺晉昭公也有才不能用 865上12) [玄]昌朱切(昌慶合三)。

曾 攝

	登開	等開	燈開	德開
並				步北 踣 釐
端 透 定 來	音登 登 徒恒 膝 力登 校 ₂		丁鄧 燈	。玄韻「登」作么 吐得 奠 徒得 奠
精 清	音增 曾			七則 城
見			古鄧 經	。玄韻：經古鄧切 …亦作經。

	登合	等合	燈合	德合
--	----	----	----	----

見	公弘 {ㄅ}			
---	--------	--	--	--

咸 攝

	覃	感	勘	合
透			它紺 憚 湯勘 探 ¹⁾	他合 深
定	徒南 鐔 ²⁾	徒感 𩇛 ³⁾	。公護「寔」作𩇛	
泥		乃感 湍		音納 內 ²⁾
來	力含 憐			
心				素合 駁
見				音闊 浩
疑		五感 𩇛 ³⁾		
曉	呼含 𩇛			
影		烏感 暗 ⁴⁾		

	談	敢	闕	盍
端	丁甘 儋		丁濫 擔	
透				吐盍 闕 ⁵⁾ 翳
定	音談 鄰	徒敢 淡 啖	徒濫 啖 澹	它闕 駝

			倭 倭	
泥	諾甘 ⁶⁾ 誨	。左韻「誨」に作る。		
清 心	七甘 參 ⁷⁾ 音三 參			
見 溪 疑 匣			苦暫 瞰	古盍 蓋 五臘 業 ⁸⁾
	下甘 邯			

- (1) 探 (刺探謂候伺也 72下10) [本] 他含切 (透覃開一)。
 (2) 內 (本文: 輔弼先帝出內累辛 <注> 尚書曰出納朕命也 966下8) [本] 奴對切 (泥除合一)。* 納 [本] 後漢書音義注。
 (3) 頷 (杜預注左傳曰頷搖頭也 1097下10) [本] 胡男切 (匣覃開一) 又胡感切 (匣感開一)。* 頷 [本] 五感切 (疑感開一)。* 朱駿成『說文通訓定聲』。
 (4) 暗 (暗蕩遠兒也 862上14) [本] 烏紺切 (影甚開一)。* 階 [本] 烏感切 (影感開一)。* 朱駿成『說文通訓定聲』。
 (5) 關 (關猶下也 1054下14) [本] 徒盍切 (定盍開一)。
 (6) 誨 (誨邯縣名 1102上6) [本] 「誨」女咸切 (娘咸開二) 又尼賺切 (娘陷開二)。
 (7) 參 (臣賢案…參搥是擊鼓之法而王僧孺詩云散度廣陵音參寫漁陽曲而於其詩自音云參音七紺反。後諸文人多同用之。據此詩意則參曲奏之名則搥字入於下句。全不成文。下文云復參過而去足知參過二字當相連而讀。參字音爲去聲不知何所憑也 1188下8) [本] 七紺切 (清甚開一) 又倉含 (清覃開一)。蘇甘 (心談開一)。楚簪 (初侵開二) 三切。
 (8) 業 (業峨高也 591下11) [本] 魚怯切 (疑業開三)。

II 韻 類

江 攝

	江	講	絳	覺
並	音龐 逢 ¹⁾ 逢			步角 鯁 ²⁾
來				呂角 擘
知			陟降 慙 ³⁾ 都降 慙	丁角 涿 連 音卓 連
澄	直江 撞 幢 撞 ₂			
娘				女卓 搗
初 生	楚江 鉏			楚角 姪 䟽角 數 音朔 嗽
見	音江 扛 ₂ 鉦			
溪				苦角 塢 ₂ 石 ⁴⁾ 口角 石 ⁵⁾ 音確 塢 胡角 石 音學 塢 ⁶⁾
匣	下江 降			

			37 高
--	--	--	---------

- (1) 逢 (本文:紹客逢紀謂紹曰… 1061上13) [本] 符容切 (並鍾合三)。*逢 [本] 薄江切 (並江開二)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (2) 鰓 (郭璞注三蒼云鰓似蛤偏著石。廣志曰鰓無鱗有殼一面附石細孔雜雜或七或九 393上1) [本] 房六切 (並屋開三)。*鰓? [本] 蒲角切 (並覺開二) 魚名。
- (3) 恚 (鄭玄注周禮云恚惡癡駭也 675下6) [本] 書容切 (書鍾合三) 又丑江 (徹江開二)。丑用 (徹用合三) 二切。*恚 [本] 陟降切 (知絳開二)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (4) 确 (實也 269上17) [本] 胡覺切 (匣覺開二)。*塙 [本] 苦角切 (溪覺開二)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (5) 石确 (堅正也 766下18) [本] cf. (4)。*塙 cf. (4)。
- (6) 塙 (謂薄土也 753上14) [本] 苦角切 (溪覺開二)。<『玄韻』に見えない又音> 音學又音確。

蟹 攝

	佳開	蟹開	卦開	
並	蒲佳 算 ¹⁾ 步佳 算 ²⁾ ₂		蒲懈 秤	
莊 崇 生			側懈 責 ³⁾ 仕懈 眦 士懈 眦	
		所解 曬 ⁴⁾		
見 疑	音佳 街		五懈 睚 ₂ 語解 睚	
匣	胡佳 鮭 ₂			

影			乙賣 隘	
---	--	--	------	--

	皆開	駭開	怪開	
並			蒲拜 排 ⁵⁾ 白拜 億	
莊			側界 責 ⁶⁾ 祭	
生			所界 殺	
見 疑 影	音皆 菱 街 音階 街 ₂	五楷 駭	一介 喝 ₂ 乙戒 噫	

	佳合	蟹合	卦合	
見	古蛙 緇		古賣 註	
			音挂 註	
匣	胡媯 龜		胡賣 絀	

			夬	
溪			奇敗 牾	

- (1) 算 (縛竹木爲算以當船也 1279上6) [玄]府移切(幫支開四)又并弭(幫紙開四)邊分(幫齊開四)二切。*算[玄]薄佳切(並佳開二)大梓曰算。
- (2) 算 (木筏也 259下7, 枋算以木竹爲之浮於水上 283下7) [玄]of.(1)。*算² of.(1)。
- (3) 責 (本文:官負人責數十億萬 750下8) [玄]側革切(莊麥開二)。*責[玄]側賣切(莊卦開二)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (4) 曬 (視也 872上10) [玄]所綺切(山紙開二)又呂支切(來支開三)。
- (5) 排 (本文:造作水排鑄爲農器<注>冶鑄者爲排以吹炭今激水以鼓之也。排當作囊古字通用也 477下17, 排囊卽今囊袋也 568上5)。*囊[玄]「囊」蒲拜切(並怪開二)。cf. 『後漢書音義』注。
- (6) 責 (本文:責家聞者皆懸爭往償之 490上3) [玄]側革切(莊麥開二)求也。*償[玄]側賣切(莊卦開二)徵財。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。→《韻類》。

山 攝

	刪開	潛開	諫開	鎔開
娘		女板 報 ¹⁾		
崇 生	仕顏 辱 ²⁾		山諫 獮 所諫 訕	
匣			戶諫 𠵽	

	山開	產開	禪開	點開
並			蒲莧 辨	
泥			。百衲本「貂」に作る 標點本に従い改める。 cf. [校勘記]按原作 「貂似豹」,謄寫據 汲本殿本改正。	奴八 豹 ³⁾

後漢書音義音韻考

澄			直莧 [○] 裱	○玄韻「綻」に作る
見			古莧 閉	古八 莧
匣	胡閉 嬾		○居莧 閉	○標点本「古」に作る 胡八 姑 ⁴⁾
	音閉 閉 ₃			
	嬾			

	刪合	潛合	諫合	鑑合
明		馬板 簪		
崇		仕板 𨔵 ⁵⁾		
見	古頑 矜 ⁶⁾	胡板 莞	音宦 擻	
匣		胡串 纒		
		下板 𦉰 ⁷⁾		
		𦉰		
影		烏板 𦉰 ⁸⁾		
		音綰 𦉰 ⁹⁾		

	山合	產合	禪合	黠合
並				彭八 拔
娘				女滑 納

- (1) 赧 (色媿曰赧 936下6) [玄] 奴板切 (泥滑開二) 慙而面赤…。 → 《聲類》。
- (2) 孱 (孱陵縣故城在今荊州公安縣西南 1269上14) [玄] 士限切 (崇產開二) 孱陵古縣名在武陵，又士連切 (崇仙合二)。 → 《韻類》。
- (3) 猓 (似豹無前足 1259下1) [玄] 女滑切 (娘黠合二) 獸名似狸蒼黑無前足善捕鼠，說文作猓。 → 《聲類》。
- (4) 媿 (醜媿也，言面媿然無媿 744上3) [玄] 下刮切 (匣鑑合二) 面醜。 → 《韻類》。
- (5) 輶 (埤蒼曰輶臥車也 596上3) [玄] 士限切 (崇產開二) 埤蒼云臥車也，…又士諫切 (崇諫開二)。 → 《韻類》。
- (6) 矜 (尚書曰惇矜乃身，孔安國注曰惇痛也矜病也言如痛病在身欲除之也 88上9) [玄] 居陵切 (見照開三)。
- (7) 皖 (縣名屬廬江郡今舒州懷寧縣 365下3) [玄] 胡管切 (匣緩合二) 縣名。〈『玄韻』に見えない又音〉。下板反又下管反。
- (8) 媿 (本文：故中常侍與左媿徐璜並作妖嬖 1070上18) [玄] 古玩切 (見換合一)。
- (9) 媿 (本文：左媿河南平陰人 1128上12) [玄] cf. (8)。

效 攝

	肴	巧	效	
滂	普交 拋		普孝 拋	
並	步交 魚			
泥	奴交 饒 ¹⁾		奴教 繞	
徹			丑教 踔	
			勑教 踔	
澄			直教 濯	
娘			女教 繞	
初			初稍 紗 ²⁾	
崇	士交 鄴			

生	所交 捎 髻		音稍 哨 ³⁾	
見	故交 汶 ⁴⁾	古巧 佼 姣 音絞 佼		
溪	苦教 饒 苦交 境 ₂			
疑			五孝 樂 ₃	
曉	火交 鷄 ⁵⁾			
匣	戶交 汶 度交 汶	胡巧 謬 ⁶⁾ 佼		

(1) 說 (說說說也 1162上2) [玄] 女交切 (娘肴開二) 爭也又恚呼也。一《声類》。

(2) 諄 (輕捷也 869上8) [玄] 楚交切 (初肴開二) 又亡沼切 (明小開四)。

(3) 哨 (小也 868下16) [玄] 相邀切 (心宵開四) 又七肖切 (清笑開四)。*稍 [玄] 所教切 (生效開二) 均也小也 …。

(4) 汶 (汶縣屬沛郡 268下4) [玄] 胡茅切 (匣肴開二) … 又縣名在沛郡。上字「故」是「胡」的誤字。cf. 汶 戶交反 (682上18)。

(5) 鷄 (郭璞注爾雅云鷄似鳬脚近尾略不能地行。江東謂之魚鷄 595下16) [玄] 古肴切 (見肴開二)。

(6) 謬 (本文：鄧太后詔封武孫蒙為謬亭侯 342上6) [玄] 落蕭切 (來蕭開四)。

假 攝

	麻開	馬開	禡開	
明	音麻 靡 ¹⁾			
微	安加 沱 ²⁾			

崇		士雅 柞 ³⁾		
生	音沙 鮐	仕雅 槎 所賣 洒 ⁴⁾	標点本「買」に作る。 cf. [校勘記] 按「買」原 誤「買」選據汲本殿未改正	
見		公雅 夏 ₂	公亞 幪	
疑	音牙 衙 吾 ₃	音假 下 ⁵⁾	音賣 夏	
曉	火加 呀 呼加 囁 ⁶⁾			

	麻合	馬合	禡合	
溪	口瓜 娉			
匣	音華 鏐	胡瓦 觥 薙		
影	烏瓜 窳			

- (1) 靡 (浚靡縣名屬河北平… 303下18) [玄] 文彼切(明紙開三)。音注字「麻」は或は「靡」の誤字か。cf. 韻類・止攝・支韻明母の欄。尚「標点本」は「浚靡」を「俊靡」に改める。cf. [校勘記] 據集解引錢大昕說改。注同。按.. 前志、續志並作「俊靡」。
- (2) 佗 (本文: 并日夜而出思令終徐憚而洞疑 <注> 廣蒼云徐憚福福未定也。… 本或作佗憚… 未定也 434上18) [玄] 徒落切(定鐸開一)。* 佗[?] [玄] 敕加切(徹麻開二) 佗憚失意…。
- (3) 柞 (邪研木也 867上15) [玄] 則落切(精鐸開一)又在各切(從鐸開一)。* 槎 [玄] 士下切(崇馬開二)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (4) 洒 (本文: 以有長者客擇洒待之 <注> 洒與灑通 572上6) [玄] 所賣切(生卦開二)又先禮切(心齊開四)。* 灑 [玄] 砂下切(生馬開二)。cf. 『後漢書音義』注。

- (5) 下 (本文: 大將軍鄧騭貴戚傾時無所下借 1201下17) [左] 胡雅切 (匣馬開二) 又胡駕切 (匣禡開二)。* 假? [左] 且也借也…
- (6) 𠵹 (谷𠵹深見也 859上18) [左] 許下切 (曉馬開二) 又盧我 (曉寄開一) 呼訝 (曉禡開二) 二切。* 谷牙 [左] 許加切 (曉麻開二)。cf. 『集韻』。

梗 攝

	庚開	梗開	映開	陌開
幫 滂 並 明	必衡 緇 ¹⁾ 音彭 朝 筭 莫庚 鄙 音盲 鄙 音。𪔐。𪔐	莫杏 鄙 。左韻「𪔐」作𪔐		片百 拍 音陌 貉
知 澄	直庚 掌 ²⁾			丁格 磔
莊 初 生	測庚 鎗 楚庚 鎗	所景 告	。標點本「洛」作𪔐。 cf. [校勘記] 據殿本改。	側格 笮 所格 索
見 溪 匣	苦庚 阮 音行 珣		。cf. 左韻: 徐古伯切 …亦作假 下孟 行 ₂	音格 假

	耕開	取開	諍開	麥開
幫 滂 並 明	補耕 坪 ³⁾ 普耕 坪 匹萌 坪 ⁴⁾ 步耕 朝			音麥 親
澄				直革 謫
初 崇	初耕 舒 仕耕 呼 士耕 呼 ₂			
見 溪 影	苦耕 鏗 ₂ 烏萌 泓 ⁵⁾ 音嬰 譽			音革 鬲 於責 搯 音庀 搯 音厄 搯

	庚合	梗合	映合	陌合
見 匣	古橫 觥 ₂ 音橫 鎗	古猛 獍 ₂ 谷猛 獍	胡孟 橫 ₃ 戶孟 橫	

	耕合	耿合	諄合	麥合
見				古獲 𦉰 ⁶
曉	火宏 𦉰 ⁶			呼獲 𦉰 ⁷⁾
	𦉰			
匣	音宏 𦉰			胡麥 𦉰

- (1) 𦉰 (襁以緇帛爲之卽今之小兒繡也 799上15) [ㄏ] 北萌切 (幫耕合二) 束兒衣。墨子云禹葬會稽桐棺三寸蓋以繡束也。 → 《韻類》。
- (2) 掌 (本文: 斬戣無子遺尸骸相掌拒 1255下11) [ㄏ] 他孟切 (透映開二)。* 𦉰⁷⁾ [ㄏ] 直庚切 (澄庚開二) 距也周禮曰唯角定之。
- (3) 𦉰 (使也 860下2) [ㄏ] 普耕切 (滂耕開二)。* 𦉰 [ㄏ] 普耕切, 使人。〈『ㄏ韻』に「見えない又音」, 普耕反又補耕反。
- (4) 𦉰 (本文: 子憂朱𦉰曼之無所用 849上11) [ㄏ] 符兵切 (並庚開三) 水名說文谷也。 → 《韻類》。
- (5) 泓 (本文: 褒宋襄於泓谷兮 436下10) [ㄏ] 烏宏切 (影耕合二)。
- (6) 𦉰 (聲也 596上6) [ㄏ] 虎橫切 (曉庚合二) 說文曰小聲也引詩云𦉰𦉰青蠅 → 《韻類》
- (7) 𦉰 (奔馳貌 868上15) [ㄏ] 胡麥切 (匣麥合二)。

咸 攝

	咸	諫	陷	洽
心				素洽 𦉰 ¹⁾
匣				音狹 夾 ²⁾

	銜	檻	鑑	狎
崇			仕鑒 儼 ³⁾	

匣	音檻 濫	下甲 桺
---	------	------

- (1) 霽 (廣雅曰霽雨也 869上18) [玄] 蘇合切(心合開-)又丈甲(澄狎開=)之涉(章業開三)胡甲(匣狎開=)三切。
- (2) 夾 (本文:其地東西夾南北長 1262下8) [玄] 古洽切(見洽開=), *狹, cf. 高翔麟『說文字通』。
- (3) 僂 (廣雅曰僂疾也 1002上17, 僂謂不與之言而傍對也 1148上2) [玄] 仕陷切(崇陷開=)輕言, 又士咸(崇咸開=)楚暨(初鑑開=)二切。→《韻類》

ⅢA 韻 類

止 攝

	支開	紙開	真開	
幫乙	音波 波 ¹⁾		彼義 陂 兵義 陂	
滂乙		芳靡 披 芳彼 披	。標點本「音」作「 cf. [校勘記]按「音」 原譌「芳」, 逕改正。	
並甲		頻爾 埤 音婢 埤 ₂		
乙	音皮 蕃 ²⁾ ₃	皮彼 埤	平寄 被	
明甲	莫支 麋	亡爾 芊		
乙	音縻 縻 ³⁾			
来	音離 纒 ⁴⁾ 麗 麗 孟 ₃			

	音麗 麗			
徹		敕紙 襪		
澄		直紙 襪 ₃		
精		將徒 訾 ⁵⁾ 音紫 姐 ₃ 訖 音訾 恣 ⁶⁾ 音此 玼		
清				
徒	在移 臂	。百衲本は「後」に作るが標点本に従い改める。 of [校勘記] 據汲本改	才賜 眦 ⁷⁾ 臂 ₂	
心	音斯 漸 ⁸⁾ 襪		思漬 杜	
初	楚宜 差			
生	所宜 釃	山爾 屐 山綺 纒		
章	音支 氏 ₃	之氏 抵 之是 軹 音紙 抵 ₄ 音是 𠵽 ⁹⁾ 𠵽		
常	上移 提 音匙 提			
羊	弋支 𡗗 ¹⁰⁾ 以支 它		羊豉 施 ₂ 以豉 易	

	音移 佗 ¹¹⁾		音異 食	
見 _乙	居奇 綺 ¹⁰⁾ ・玄韻「羈」に作る	居綺 綺 居蟻 綺 ₂ 居螳 綺		
溪 _乙	丘宜 崎			
羣 _甲	巨移 支 ¹²⁾			
乙		渠綺 技 音伎 技 魚綺 蛾 軼		
疑 _乙				
曉 _乙	許宜 戲 ₂			

	脂開	旨開	至開	
幫 _甲		音比 泚	必寐 比 必四 界 必二 界 音庇 比 ₃ 音秘 琰 ¹³⁾ 必	
乙				
滂 _乙		普美 鄙 ¹⁴⁾		
並 _乙	盤眉 郢 ¹⁵⁾ 平眉 坯 ¹⁶⁾			

後漢書音義音韻考

	<p>山 𡗗</p> <p>音 邳 𡗗¹⁷⁾</p> <p>音 麋 麋¹⁸⁾</p>	<p>。玄韻「駟」に作る。</p>		
來	<p>力 私 勢¹⁹⁾</p>			
知 澄 娘	<p>音 尼 倪</p>		<p>丁 利 輕</p> <p>持 二 遲</p>	
清 心	<p>七 私 郵</p> <p>音 私 厶</p>			
莊			<p>側 利 事²⁰⁾</p>	
羊	<p>音 夷 義</p> <p>台²¹⁾</p>			
見 _乙			<p>京 媚 驪</p>	

	之	止	志	
幫 _乙	<p>卑 疑 紕²²⁾</p>			
來	<p>力 之 麗²³⁾</p> <p>聲</p> <p>釐</p>			
微			<p>丑 吏 眙</p>	

澄		直理 滂 ²⁴⁾		
精 從 心 邪	子期 腎 ²⁵⁾ 音慈 茲		西志 僊 ²⁶⁾ 音釵 食 ²⁷⁾ 音嗣 食 ²⁸⁾ 音銅 食 ²⁹⁾ 音寺 食 ³⁰⁾	
莊 初 崇	楚疑 颶 仕疑 荏	音俊 駭 。公韻「荏」作「𠂔」	側事 蓄 ³¹⁾	
章 昌 書 常 日 羊	 音時 祁 ³²⁾ 音而 櫛 ³³⁾ 以之 圮	 。公韻「櫛」作「𠂔」	音志 識 ₂ 昌忌 幟 尺志 幟 式志 幟 音試 幟 如志 𦍋 音異 食	
見 _乙	音菁 期 ³⁴⁾ 音基 其 ₄ 謀			

溪甲			羌志 𦵏 ³⁵⁾	
羣乙	音其 莢	其紀 𠵽 ³⁶⁾ 求紀 𠵽 ³⁷⁾		
曉甲			許吏 𠵽 ³⁹⁾ 喜 虛記 喜 許記 喜	
乙	許其 熹 禧 喜基 禧 音僖 禧 ⁴⁰⁾ 釐 ⁴¹⁾ ₂ 禧 禧 音醫 噫	虛起 猗 ³⁸⁾ 。玄韻「熹」に作る。		
影乙				

	支合	紙合	寘合	
來			力瑞 累 力僞 累	
精	子隨 劑 ₂			
初		初委 揣 ₂		
章			之瑞 揣	
羊	以規 觴 ⁴²⁾	以藥 雖		

見 _乙		居毀 度		
溪 _甲			丘瑞 觥	
			羌恚 觥	
疑 _乙		魚委 峴 ⁴³⁾ ₂		
曉 _甲	許規 墮 ₃			
影 _乙	於危 委 ₃			

	脂合	旨合	至合	
来	力隹 羸 ⁴⁴⁾ 力追 羸	音壘 羸		
澄	直追 椎 ₄		直類 緇 ⁴⁵⁾ 直季 懟	
精 邪	沮惟 茲 ⁴⁶⁾		音遂 隊 ⁴⁷⁾ 緇	
羊		以揆 確		
見 _乙 羣 _乙 疑 _乙 曉 _甲	巨眉 燄 許維 睢 火隹 睢	音軌 沆 魚軌 峴 ⁴⁸⁾	火季 睢 ₂ 睢	。百衲本は「汎」に作るが 標点本に従い改める。 cf. [校勘記] 據殿本改。

于	于 𠂔 煒 ⁴⁹⁾	
---	----------------------	--

- (1) 波 (傍也 694下6) [玄] 博禾切 (幫戈合一)。
- (2) 蕃 (縣名屬魯國 … 34下5, 本文: 帝至蕃 207上14, 姓也 975下17) [玄] 附表切 (並元合三) 又甫煩切 (幫元合三)。
- (3) 靡 (沒靡縣名屬右北平郡 341上2) [玄] 文彼切 (明紙開三)。
- (4) 纓 (本文: 佩纓纓以煒煌 <注> 盛兒也 860下18) [玄] 所綺切 (生紙開二)。
- (5) 姐 (本文: 勒姐燒何羌等十三種數萬人 313下2, 本文: 時先零羌與封養牢姐種解仇結盟 1290上17, 本文: 元帝時多姐等七種羌寇隴西 1290下16) [玄] 茲野切 (精馬開四)。
- (6) 恣 (恣睢自用之貌也 758上18) [玄] 資四切 (精至開四)。
- (7) 眦 (前書音義曰 眦目兒也 976上15) [玄] 七懈切 (崇卦開二)。* 皆 [玄] 疾智切 (從宜開四)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (8) 澌 (本文: 候吏還自河水流澌無船不可濟 317上7) [玄] 斯義切 (心真開四)。
* 斯。cf. 桂馥『說文解字義證』。
- (9) 𠂔 (本文: 湯夢及天而𠂔之 171上18) [玄] 下刮切 (匣鐸合二) 又火怪 (曉怪合二) 火火 (曉火合二) 二切。* 𠂔 [玄] 神帝切 (常紙開三)。cf. 『洪武正韻』。→《韻類》。
- (10) 它 (委它行貌也 1140上5) [玄] 託何切 (透歌開一)。
- (11) 佗 (本文: 委佗還旅 <注> 行貌也 332下11) [玄] 託何切 (透歌開一) 又徒河切 (定歌開一)。
- (12) 支 (本文: 公孫瓚字伯珪遼西令支人也 1052上15) [玄] 章移切 (章支開三)。
- (13) 琫 (本文: 乃任吏部尚書漢陽周琫 … <注> 英雄記琫作琫字仲遠武威人 1038下6) [玄] 平吉切 (幫質開四)。* 琫 [玄] 兵眉切 (幫至開三)。cf. 『後漢書音義』注。
- (14) 鄙 (鄙駭獸奮迅貌也 867下5) [玄] 方美切 (幫旨開三)。
- (15) 耶 (本文: 遼擊白波賊有功封郭侯 416上15) [玄] 符羈切 (並支開三) 耶縣名。在蜀。→《韻類》。
- (16) 坯 (本文: 登百坯山 … <注> 卽柏坯山也 … 東觀記作坯並音平眉反 92下7) [玄] 芳杯切 (滂灰合一)。* 坯 [玄] 符悲切 (並脂開三)。cf. 『後漢書音義』注。
- (17) 𩇛 (山海經曰 … 其狀人面而龍身是與欽𩇛殺祖江于崑崙之陽 859下9) [玄] 敷悲切 (滂脂開三)。
- (18) 麋 (交趾郡麋泠縣有金溪穴 … 339上11) [玄] 武移切 (明支開四) 縣名在交趾。→《韻類》。
- (19) 𦵏 (梨𦵏𦵏字古通用也 310上7) [玄] 里之切 (來之開三)。* 梨 [玄] 力脂切 (來脂

- 開三)。cf.『後漢書音義』注。
- (20) 事 (前書音義曰江東人以物插地中爲事 858上13) [本] 側吏切 (莊志開二) 事乃又作刺傳; 使也立也由也。→《韻類》。
- (21) 台 (盱台今楚州縣也 124上7) [本] 與之切 (羊之開四) 我也又姓出姓苑又音胎。→《韻類》。
- (22) 紕 (何承天纂文曰紕氏瀕也 1284下9) [本] 符支切 (並支開四) 飾緣邊也。又匹美切 (滂脂開四) 繒欲壞也。又昌里切 (昌止開三) 績紕一紕……。→《聲類》《韻類》。
- (23) 麗 (本文: 長好儒學以詩春秋教麗山下 439下18) [本] 呂支切 (東支開三) 東夷國名。又盧計切 (東齊開四)。→《韻類》。
- (24) 澧 (水經曰澧水出南陽魯陽縣西堯山… 21下11) [本] 直几切 (澄旨開三) 水名在魯陽。→《韻類》。
- (25) 背 (背觸大龜亦瑋瑋之屬 1166上3) [本] 姊宜切 (精支開四) 星名。又即移切 (精支開四) 背星…。又即奉切 (精紙合四) 喙也。→《韻類》。
- (26) 僊 (太史公曰…文之敝小人以僊故救僊莫若以忠 661上14) [本] 式吏切 (書志開三)。
- (27) 食 (本文: 韓尤貧者過所衣食 494下10) [本] 乘力切 (船職開三) 又羊支切 (羊志開四)。
- (28) 食 (本文: 夫繼食膺爲欲其驚 836下6) [本] cf. (27). 尚: 「標点本」は「膺爲」を「驚爲」に改める。cf. [校勘記] 按: 「膺」原譌「膺」, 逕改正。
- (29) 食 (本文: 願得先歸食毋畢還就死 570下8) [本] cf. (27). * 食 [本] 祥吏切 (邪志開四)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (30) 食 (通行飲食猶今律云過致資給與同罪也 688上18) [本] cf. (27)。
- (31) 蓄 (蓄謂插也 792下14) [本] 側持切 (莊之開二)。
- (32) 祁 (天山卽祁連山一名雪山今名折羅漢山在伊州北 63下11) [本] 渠脂切 (牽脂開三) 又職維切 (章旨開三)。
- (33) 搗 (爾雅曰搗搗…注云搗似擲揪而痺小 725下18) [本] 「搗」奴豆切 (泥侯開一) 又儒佳 (日脂合三) 而主 (日慶合三) 而遇 (日遇合三) 三切。
- (34) 期 (本文: 期月之間兄弟稱王 330上4) [本] 渠之切 (牽之開三)。* 著。cf. 高翔麟『說文字通』。
- (35) 舐 (前書音義曰舐猶摸也 496上9) [本] 窺瑞切 (溪寘合三) 望也又音決。下字「志」は「志」の誤字か。cf. 舐 美志反 (843上5)。
- (36) 郢 (郢縣屬南郡… 238下8) [本] 墟里切 (溪止開三) 縣名在南郡。又渠記切 (牽志開三)。→《聲類》。
- (37) 郢 (黃尚字伯河南郡郢人也 118上13, 東觀記曰豐郢縣人… 281上11) [本] cf. (36)。

一 《聲類》

- (38) 猗 (猪也 869上5) [玄] 虛豈切 (晚尾開三) 楚人呼猪, 又香衣切 (晚微開三)。→

《韻類》。

- (39) 𠂔 (爾雅曰𠂔息也 857上3) [玄] 虛器切 (晚至開三) 息也。→ 《韻類》。

- (40) 憊 (歎聲也 888上6) [玄] 「憊」, 虛里切 (晚止開三) 又許記切 (晚志開三)。* 憊 [玄] 許其切 (晚之開三)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。

- (41) 釐 (本文: 立四十六年釐子釐王定嗣 627下11, 立戰鄉侯安國為濟北王是為釐王 801下7) [玄] 里之切 (來之開三)。* 憊。cf. 『漢書』顏師古注。

- (42) 𦏧 (腎𦏧大龜亦瑤瑁之屬 1166上3) [玄] 許規切 (晚支合四) 又尸圭切 (匣支合四)。* 𦏧 [玄] 悅吹切 (羊支合四)。cf. 段玉裁『說文解字段氏注』。

- (43) 峴 (陵在今鄆州東峴山南 635下14, 峴峴謂山也 759上2) [玄] 魚駕切 (疑支合三) 三峴山名。→ 《韻類》。

- (44) 羸 (本文: 復馬羸光武解左驂以賜之 286上1) [玄] 力為切 (來支合三) 瘦也。→ 《韻類》。

- (45) 縋 (本文: 臨河欲濟岸高十餘丈乃以絹縋而下 1046下6) [玄] 馳偶切 (澄寘合三) 繩懸也。→ 《韻類》。

- (46) 茲 (龜茲國… 694下17) [玄] 子之切 (精之開四) 又疾之切 (從之開四)。

- (47) 隊 (本文: 與王莽前隊大夫甄阜 19上13) [玄] 徒對切 (定隊合一)。* 遂。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。

- (48) 峴 (高山兒 866下11) [玄] 魚駕切 (疑支合三) 三峴山名。→ 《韻類》。

- (49) 煒 (本文: 太中大夫陳煒後至坐中以告煒 1008下18) [玄] 于鬼切 (于尾合三) 光煒。→ 《韻類》。

𧈧 撰

			祭開	
章		。cf. 宏韻: 哲, 征例切。 … 亦作𧈧。	音制 𧈧	
常			時制 𧈧	。宏韻: 標本「𧈧」, 作𧈧。cf. [校勘記] 據本改。
見乙			音逝 𧈧	
溪乙			吉曳 𧈧	。宏韻「𧈧」, 作𧈧。
			丘例 揭	

			祭合	
知			張芮 醜 ₂ 竹歲 醜	
邪			似銳 孿 詳銳 孿	
章 書			之銳 贅 式銳 蛻 ₂ 音稅 蛻 ₂ 悅 音芮 蛻	
日				。左韻「蛻」，1作5。
見乙 于			居衛 慶 音衛 轉	。左韻「蹶居衛切」…亦作慶

臻 攝

	真臻	軫	震	質攝
幫甲				音必 琰
來			力刃 轉 躋 音各 轉	音栗 漂 。左韻「躋轉」，1作5。
澄		直忍 𪛗 。誅 ¹⁾	。左韻「診」，1作5。	

娘				女一 初
精			音 晉 璿	卽七 璽
初 生	所巾 莘		初刃 齒	
章 書 日 羊	之人 振 音身 娠 音真 偃 音申 信 ²⁾ ₇	之忍 紵 。玄韻「診」作 ²⁾ 音忍 臆 ³⁾	真各 訕 之刃 娠 音振 偃 音胤 醕 鞞	音質 眚 ² 隲 鑽 ²
溪 ^甲 羣 ^乙 疑 ^乙	。五巾 垠 音銀 鄞 犴 垠 ²	。標点本「王」作 ²⁾ 。[校勘記]按「王」 原譌「五」,逕改正。	音觀 瑾	丘吉 蛄

	真合諄	軫合準	震合稕	質合術
徹				音黠 怵

精 清 從 心	七倫 逵 音荀 ⁴⁾ 恂 ⁶⁾ 音恂 ⁶⁾ 恂 ⁶⁾	。広韻「箕」に作る	音俊 駿	才律 萃 息律 恂 ⁵⁾
章 昌 船 常 日	之純 諄 音脣 滄 音純 忱 ⁷⁾	之尹 純 之允 淳 音蠢 ⁸⁾ 胸 如尹 脛 ⁸⁾	之順 諄 。広韻「胸」に作る	
影 _乙 于	於筠 頤			于筆 汨 ₂

- (1) 詵 (候也 1223下16) [広] 「詵」章忍切 (章軫開三) 候脛 …… 上字「道」は恐らく「真」の誤字であろう。
- (2) 信 (信音申 古字通 126下7, 本文: 七十說而乃信 433上13, 本文: 亦足以信意而感物矣 483上11, 本文: 漢使既到便偃蹇自信 538下1, 本文: 願將軍隆照微之明信日吳之聽 587下8, 本文: 拔於囚虜之中信其佐國之謀 616下17, 本文: 啓金縢而乃信 853下5) [広] 息晉切 (心震開四) 。 * 申。cf. 『後漢書音義』注, 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (3) 脛 (脛脛縣名屬巴郡 293下1) [広] 如順切 (日釋合三) 。
- (4) 恂 (恂邑縣屬右扶風 …… 255下4) [広] 「箕」思尹切 (心準合一) 。
- (5) 忱 (本文: 無有忱迫之憂 923上6) [広] 安律切 (徹術合三) 。 * 誅 [広] 辛幸切 (心術合四) 。 cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (6) 恂 (本文: 代王梁為大司空封恂邑侯 395上7) [広] cf. (4) 。
- (7) 忱 (本文: 王忱字少林廣漢新都人也 1198下18) [広] 徒渾切 (定魂合一) 。
- (8) 脛 (脛脛屬巴郡 …… 1087上11) [広] cf. (3) 。

山 攝

	仙開	獮開	線開	薛開
幫甲 滂甲	卑連 鯁		。公龍「驚」，小作。	彼列 別 必薛 驚 普列 瞥 芳烈 慙
來		音輦 蓮		
知	竹連 遘			知劣 啜 丁劣 掇
精 從 心	子延 湍	音翦 戩 ³ 音踐 諫		思列 緹 息列 緹
章 昌 常 羊	之延 鍾 市延 鋌 ² 音延 鋌 ⁴	昌善 單 音善 鱣 ¹⁾ 單 翼善 續 音衍 續	市戰 鄣 音禪 墀 ²⁾ 音擅 擇 ³⁾ ⁴⁾ 以戰 延 ⁵⁾ 羨 ² 衍 ²	之舌 折

溪 ^甲				丘列 謁
羣 ^甲				渠列 謁
乙		其 寢 建 ⁶⁾		
疑 ^甲			。玄韻「孽」に作る	魚列 °孽
影 ^乙	音焉 闕			

	仙合	獮合	線合	薛合
並 ^乙			皮媛 拊	
来	力全 羣 ⁵⁾			
知			知戀 傳 ³⁾ 陟戀 傳 ³⁾ 丁戀 傳 ²⁾ 丑戀 獶	
徹				
清			七 緇 緇	
從		字充 雋 似充 雋 ⁷⁾		
邪				
崇			仕卷 鏤 士眷 僕	
章		之充 刺		昌悅 劉 啜
昌				

<p>常 日</p>	<p>音緣 允¹²⁾ 鳶 音鉛 允¹³⁾ 音沿 允¹⁴⁾ 音金公 允¹⁵⁾₄</p>	<p>時充 鱗⁸⁾ 而充 輓 硬 蜺 仁充 孺¹¹⁾</p>	<p>而戀 孺⁹⁾ 而掾 孺¹⁰⁾</p>	<p>而悅 塾 。玄韻「埴」作「塾」。 音悅 說</p>
<p>見甲 溪乙 羣乙 曉甲 影甲</p>	<p>丘權 卷¹⁷⁾ 丘圓 卷¹⁸⁾ 音權 拳 音拳 卷 許緣 翺 於緣 梢</p>		<p>音綸 甄¹⁶⁾₂ 鄧 猶₂</p>	

- (1) 鱗 (韓子云鱗似蛇。臣賢案續漢及謝承書鱗字皆作鱗然則鱗鱗古字通也。779下1) [本]張連切(知仙開三)。*鱗 [本]常演切(常獮開三)。cf.『後漢書音義』注。
- (2) 埴 (除地於中為埴 976上7) [本]常演切(常獮開三)。*埴 [本]時戰切(常線開三)。cf. 段玉裁『說文解字段氏注』。

- (3) 捍 (本文:永昌徼外蠻夷乃捍國重譯奉貢 88下1, 本文:永昌徼外捍國遣使貢獻 106下1, 本文:捍國遣使貢獻 115下14, 本文:徼外蠻夷捍國王雍由調遣重譯奉國珍寶 1220下9) [ㄊ]市連切(常仙開三)又徒干(定寒開一)徒案(定翰開一)=ㄊ。
 (4) 𨔵 (讒言捷急之兒 1239上8) [ㄊ]徒干切(定寒開一)。
 (5) 延 (蔓延者獸名也 96下11) [ㄊ]于線切(干線開三)又^{「境」}以然切(羊仙開四)。
 (6) 建 (鄭注云建讀爲鍵…謂藏閉也 866上5) [ㄊ]居萬切(見韻開三)。*鍵[ㄊ]其聲切(羣獨開三)。cf.『後漢書音義』注。
 (7) 雋 (下雋縣屬長沙郡 1126下8) [ㄊ]徂兗切(從獨合四)。→《声類》。
 (8) 𨔵 (本文:除子轉爲郎令勸學省中 376下12) [ㄊ]職緣切(章仙合三)又^{「境」}兗切(章獨合三)。
 (9) 𨔵 (官之餘地也前書音義曰𨔵城郭旁地 129上10) [ㄊ]而緣切(日仙合三)又乃臥(泥遇合一)如兗(日獨合三)=ㄊ。
 (10) 𨔵 (前書音義曰選𨔵柔怯也 1301下17) [ㄊ]人朱切(日虞合三)。*𨔵[ㄊ]而兗切(日獨合四)。cf.段王載『說文解字段氏注』。
 (11) 𨔵 (選𨔵仁弱慈戀不決之意也 798下14) [ㄊ]cf.(10)。*𨔵cf.(10)。
 (12) 允 (允街縣名屬金城郡 130上13) [ㄊ]余準切(準準合四)。
 (13) 允 (允街縣名屬金城郡 53下12) [ㄊ]cf.(12)。
 (14) 允 (允街縣名屬金城郡 53下18) [ㄊ]cf.(12)。
 (15) 允 (本文:羌因將其妻子輜重移阻於允吾谷 364上8, 本文:冬勒姐零吾種圍允街… 956上7, 允街縣名屬金城郡 1292上4, 允吾縣名屬金城郡 1292上7) [ㄊ]cf.(12)。
 (16) 甄 (甄城縣名屬濟陰郡…今作鄆 1018下7, 本文:宜徙都甄城以就全實 1068上14) [ㄊ]居延切(見仙開三)又側鄰切(章真開三)。*鄆[ㄊ]吉據切(見線合四)。cf.『後漢書音義』注。
 (17) 卷 (縣名屬河南郡也 72下6) [ㄊ]居倦切(見線合三)又居轉切(見獨合四)。
 (18) 卷 (縣屬滎陽郡 1153下16) [ㄊ]cf.(17)。cf.『標点本[校勘記]按…集解引洪亮吉說謂漢無滎陽郡當屬河南』。

效 攝

	宵	小	笑	
幫甲	必遙 ^標	。百納本「標」作「𨔵」 標点本に従い改める。 cf. [校勘記] 按「標」 原譌「標」, 逕改正。	方妙 傳 ¹⁾ 栗 ²⁾	
滂甲	燥 ^標		匹妙 栗 ³⁾	

並乙 明甲		皮表 茅 亡小 杪 。藪 名小 。藪 音眇 藪	標 標 足妙 剝 標	
知	陟遙 朝			
精 清 心	音焦 嶠 ⁴⁾ 此消 幘 音消 綃	子小 澤	七笑 峭 七咲 峭	。標點「笑」作「
日 羊	人遙 橈 音饒 橈 音遙 繇 音姚 鈔			
見乙 溪甲 乙 羣乙	居妖 鵲 丘昭 趙 去驕 趙		渠廟 嶠	

曉乙	火驕 敵		
影甲	一遙 要		

- (1) 僂 (方言曰僂輕也,或作剽劫財物也音同 1070下5) [玄] 撫招切 (滂宵開三) 又匹妙切 (滂笑開三)。* 剽 [玄] 符宵切 (並宵開四) 又匹妙切。cf. 『後漢書音義』注。→《聲類》。
- (2) 剽 (僂…或作剽劫財物也 1070下6) [玄] cf. (1)。
- (3) 栗 (本文:去穢累而栗輕<注>猶飄飄也 855上17) [玄] 撫招切 (滂宵開三)。
* 僂 [玄] 匹笑切 (滂笑開三)。cf. 桂馥『說文解字義證』。
- (4) 嶠 (嶠嶠高也 593上16) [玄] 昨焦切 (從宵開四) 嶠嶠。→《聲類》。

假 攝

	麻開	馬開	禡開	
精	音嗟 置	子野 姐 紫且 姐 子也 姐	子夜 惜 借 ₂	
從			自夜 藉	
章		音者 堵 ₃		
船			示夜 貫	
書		式者 舍 音舍 庫		
常			時夜 貫 ₂ 市夜 貫	
日	而遮 姥	。玄韻「鈐」本作 音治 壘 ⁽¹⁾		
羊	音邪 鉦		音夜 射 ₂	

		音野 壘 ²⁾	
--	--	--------------------	--

- (1) 壘 (本文:…田開古壘… 869下14) [玄] 公戸切 (見燒合一).
 (2) 壘 (本文:咸姦麗以壘媚兮 <注>謂妖麗也 859下16) [玄] cf. (1).

梗 攝

	清開	靜開	勁開	昔開
幫甲 滂甲 並甲			必政 并 ³ 必姓 并	 匹亦 辟 頻亦 辟 ⁴ 步歷 鷺
徹 澄			丑政 儋 ⁴	 擲亦 麗 ¹⁾
清 從			財性 婧 才性 靚	七亦 籍 ²⁾
章 羊	音征 正 音盈 羸			音亦 𦏧 射 ² 場

	庚開	梗開	映開	陌開
--	----	----	----	----

見乙	音 警 儆		
----	-------	--	--

	庚合	梗合	映合	陌合
見乙 于		久永 獮 ³⁾	于命 榮 音 詠 榮	

- (1) 麗³⁾ (縣屬南陽郡 190下10) [ㄌㄨˋ] 呂支切(來支開三)又郎擊切(來錫開四)。
 (2) 箝 (說文曰刺也。周禮鼈人掌以時箝魚鼈龜蜃。鄭衆注云箝謂以杖刺泥中搏取之 870下2) [ㄑㄧㄢˋ] 秦昔切(從昔開四)打也。又測戟切(初陌開二)刺也國語曰箝魚鼈也。士角切(崇賞開二)取魚箝也。 → 《声類》。
 (3) 獮 (本文:且臨守偏海政移獮俗 324上4) [ㄌㄨˋ] 居住切(見養合三)又古猛切(見梗合二)。

流 攝

	幽開	黠開	効開	
明甲			音 謬 繆	

曾 攝

	蒸開	拯開	證開	職開
滂乙				普逼 幅
並乙				孚逼 幅 平逼 復
來	力澄 凌			音力 棘 ¹⁾

從	音繒 驂 ²⁾			
初				音測 晏
昌	音繩 膝		尺證 稱	音植 植
船			常證 承 ³⁾	
常			時證 丞	
日			人證 招	
見甲				紀力 亟 ⁶ 極 ⁴⁾ 殛 ² 棘 己力 棘

(1) 棘 (本文: 岑暄字公孝南陽棘陽人也 988上2) [本] 紀力切 (見職開三)。音注「音力」は「紀力」の誤脱か。cf. 棘 紀力反 (279上18)。

(2) 驂 (說文曰騂驂牛也 686下16) [本] 食陵切 (船蒸開三)。

(3) 承 (陽都縣屬城陽國故城在今沂州承縣南 641上5) [本] 署陵切 (常蒸開三)。

(4) 極 (本文: 流極之運有生所共深悲也 <注> 流極皆放也 889下9) [本] 渠力切 (羣職開三)。* 殛 [本] 紀力切 (見職開三)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。

深 攝

	侵	寢	沁	緝
幫乙		筆錦 稟		
來	音林 緝 ¹⁾			音立 緝 ²⁾ 3

	{砢林}		。左讀「風」に作る	。風 ³⁾
知	竹林 鏹 ⁴⁾			
	竹心 榭			
徹	丑林 柳			
	丑吟 柳			
	丑心 緜			
	丑金 夢			
澄	音沈 湛 ₂			
娘	女林 絳 ⁵⁾			
徒				才入 輯
				音集 輯
邪	徐林 鱗			音襲 緝 ⁶⁾
	音尋 {趨}			
	齧			
生	所金 夢			
	樛			
	所今 參			
書		舒銍 暉		
		音審 暉		
		{暉}		
常	市林 慥			音十 什
日	人林 任	人甚 恁 ₂	人鴉 倭	。左讀「姪」に作る

羊	如深 絰 仁林 任 以林 蟬 尤 以今 尤 音淫 尤 ₃	而甚 僊	仁蔭 倭	。玄韻「妊」に作る。
羣 _乙 疑 _乙 曉 _乙 影 _乙	音吟 嶺 ⁸⁾ 嶺 ₂		渠禁 禁 ⁷⁾ 於禁 陰 ⁹⁾ 一禁 審 音蔭 欽	許及 欽 ₂ 音翕 欽

- (1) 絰 (本文:佩絰纓以輝煌<注>盛兒也 860下18)[玄] 丑林切(微侵開三)。
 (2) 颯 (本文:盧芳所置朔方太守田颯 37下16, 本文:而中常侍鄭颯 796下10, 本文:衛
 颯字子產河內脩武也 1099下2)[玄] 蘇合切(心合開一)。
 (3) 颯 (本文:使冰委素狻猊尤無狀者長樂尚書鄭颯送北寺獄 999下6)[玄]「颯」cf.(2)。
 (4) 嶺 (鑽嶺也 307上3)[玄] 丑甚切(微侵開三)。* 堪[玄]知林切(知侵開三)。cf.『集韻』。
 (5) 絰 (布穀一名戴絰一名戴勝 473上2)[玄] 汝鳩切(日沁開三)…亦作絰…。* 綃?
 [玄] 女心切(娘侵開三)。綃織也齊也或作絰。
 (6) 綃 (楚詞曰襲英衣兮綃綃。譚鮮明之衣 716下17)[玄] 七接切(清葉開四)。
 (7) 禁 (鄭玄注周禮云四夷之樂東方曰鞀…北方曰禁。禁字書作仵 601上10)[玄] 居吟
 切(見侵開三)×居廉切(見沁開三)。* 鞀⁷⁾[玄] 巨金切(羣侵開三)鞀鞀四夷樂也。
 (8) 嶺 (嶺巖謂嶺也 1166下11)[玄] 去金切(溪侵開三)。
 (9) 陰 (陰陽猶壺塞也 354上6)[玄] 於金切(影侵開三)。

咸 攝

	塩	琰	豔	業
幫 ^甲 乙	必廉 砭		音窆 封 ¹⁾	
来	音廉 ° 査	。公韻「匱」に作る		呂涉 躒
精 從 心	子廉 燿 音潛 滯 先廉 彡 音 ° 纖 遲	。公韻「纖」に作る		
生	所廉 彡 ²⁾			
章 書 常 羊	時占 蟾		以瞻 焱 音豔 燭 音焰 炎	之涉 懽 驚 ² 之業 懽 式涉 業
羣 ^甲 乙	渠廉 鉗 其廉 鉗 其炎 鉗			

影甲	柑	一染 楸 ³⁾	一葉 厭 ⁴⁾ ₂ 厭 ₃
	巨炎 柑		
	奇炎 柑		

(1) 封 (懸封謂直下棺不為埏道也 579上2) [玄] 府容切 (聲鍾合三) 又方用切 (聲用合三)。* 窆 𠂔 朱駿成『說文通訓定聲』。

(2) 𡵓 (本文: 𡵓姐等七種羌寇隴西 1290下15) [玄] 息廉切 (心塩開四) 又所銜切 (生銜開二)。

(3) 楸 (爾雅曰楸山桑也 869上4) [玄] 於葉切 (影葉開四)。* 厭 [玄] 於琰切 (影琰開四)。𠂔 桂馥『說文解字義證』 (服也 550上15)。

(4) 厭 (本文: 以欽爲厭難將軍 541上14) [玄] 一鹽切 (影塩開四) 又於豔切 (影豔開四)。* 厭 [玄] 於葉切 (影葉開四)。𠂔 段玉裁『說文解字段氏注』。

III B 韻 類

通 攝

	東	董	送	屋
幫			音諷 風	音福 復 ¹⁾ ₄ 複 ₂
滂				芳福 虻
並				音伏 復 音服 備
來	力公 龔			良逐 廖 音六 勑

知			竹仲 中 丁仲 中 ₂ 衷	
徹 澄 娘			。広韻「 <u>紐</u> 」に作る。	丑六 清 音逐 筑 女六 忽 。紐 。血
精 心				子六 蹇 音宿 玉 音肅 玉 ₃
生				所六 謬
羊				音育 清 煜
溪 影			乞鳳 {曲} 。広韻「 <u>臧</u> 」に作る。	於六 拗 ²⁾ 燠 奠 ⁴⁾ 一六 臧 [。] 乙六 臧 [。]

	鍾	腫	用	燭
--	---	---	---	---

後漢書音義音韻考

並			扶用 奉 ³⁾ ° 俸	。百衲本は「奉」に作るが 標点本に従い改める。 cf. [校勘記] 據汲冢殿 本改 與正文合。
来				音 録 遂 ₂
知 澄	直容 重 ₂		竹用 渾 直用 重 ₂	
精 清	七容 從		子用 從 ⁴⁾ ₃	音 促 趨 ⁵⁾ 趣 ₅
章 昌 日 羊	昌容 充 ⁶⁾ 音 衡 充 ⁷⁾ 量 音 勇 脩 溶	人 勇 革 ⁸⁾ ° 冗 ₂		之 欲 屬 ₂ 音 燭 屬 ₃
見 牽			居用 供 九用 供 音 恭 共 ₂	
	渠恭 舛			

曉		呼勇 兇		
影		音擁 廳 ⁹⁾		

(1) 復 (本文: 世世復徭役 35下6, 本文: 又欲就賤還歸者復一歲田租更賦 86上16, 復謂優寬也 478下2, 本文: 乃刻石盟要復夷人頃田不租 1275下4) [玄] 房六切 (並屋開三) 返也重也…又扶富切 (並有開三) 又也 返也往來也安也白也告也 又音服。→《聲類》。

(2) 拗 (拗猶抑也 594下16) [玄] 於絞切 (影巧開二)。

(3) 奉 (本文: 詔有司增百官奉 47下4, 本文: 常賣卜自奉 459上8, 本文: 節儉行義常分損租奉 525下16) [玄] 扶隴切 (並腫合三)。* 奉 [玄] 扶用切 (並用合三)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。

(4) 從 (本文: 今更始諸將從橫暴虐 272下13, 本文: 閒者三輔從橫 572上7, 本文: 見烏侯秦水廣從數百里 1352上17) [玄] 疾容切 (從鍾合四) 又疾用 (從用合四) 七恭 (清鍾合四)。* 從 [玄] 子用切 (精用合四)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。

(5) 趨 (本文: 追者意非恆人趨奔之 1080下3) [玄] 七逾切 (清虞合四)。* 促。cf. 『漢書』顏師古注。

(6) 充 (充縣名屬武陵郡 368下1) [玄] 昌終切 (昌東開三) 美也塞也行也滿也。→《韻類》。

(7) 充 (充縣屬武陵郡 1269上17) [玄] cf. (6)。→《韻類》。

(8) 茸 (本文: 臣雖聞茸…〈注〉細也 1054下14) [玄] 而容切 (日鍾合三)。

(9) 廳 (本文: 置列汧隴廳偃西戎 1166下13) [玄] 於容切 (影鍾合三)。

上 攝

	微開	尾開	未開	
見	音機 斬 ³			
羣	近衣 幾			
	鉅依 幾			
	音祈 幾 ⁵			
	斬 ¹⁾			

曉	音希 晞		許旣 獫 ²⁾ 火旣 堅 許氣 喜 ³⁾ 於旣 衣 ₂ 於氣 衣	
影				

	微合	尾合	未合	
並	音肥 貴 ₃	音尾 璽		
明				
曉	音揮 羣		音謂 豪	
于				

- (1) 靳 (靳春今靳州縣也 297下9)[玄]渠之切(羣之開三)州名漢靳春縣也…又居依(見微合三)巨斤(羣欣開三)二切。→《韻類》。
- (2) 獫 (左傳曰…浞因羿室生澆及豷… 757下4)[玄]虛器切(曉至開三)夏后氏有澆豷寒浞子名。→《韻類》。
- (3) 喜 (喜事猶好事也 638下3)[玄]虛里切(曉止開三)喜樂…。*憲[玄]許記切(曉志開三)好也。→《韻類》。

遇 攝

	魚	語	御	
來	音閭 慮 ¹⁾ ₂	音呂 𣎵 _𣎵 𣎵	。玄韻「𣎵」作𣎵。	

澄 娘	直余 躋 直於 屠		尼慮 女	
精 清 心 邪	子余 諏 ²⁾ 且 ⁶⁾ 子闇 蒞 ³⁾ 七余 狙 沮	息汝 誦 音誦 胥 音序 莫 音緒 鯢		
莊	側余 沮	音阻 沮 ⁴⁾		
船 喜 常 羊	式余 紓 音舒 紓 ³⁾ 音輸 掄 ⁵⁾ 時諸 蜎 音余 與 ²⁾	食汝 杼 杼 是與 杼 ⁶⁾	音預 與 ⁸⁾ 與 ²⁾ 音豫 與	

後漢書音義音韻考

見	音居 踞			
溪	欺於 陸	丘呂 去 ₂		
		欺呂 去		
		祛呂 去		
羣	音渠 居 ⁷⁾	渠呂 錄		
	居	音巨 芭	音遽 據	
疑		音語 策 ₂		
曉	音虛 吁 ⁸⁾			

	虞	麌	遇	
幫	方于 鈇	音俯 類		
	音鈇 枹 ⁹⁾	音甫 父 ₂	。百衲本字件不鮮明。 標點本「據」補。	
滂	芳于 怱	音撫 撫 ¹⁰⁾		
	匹俱 附			
	音敷 傳 ¹¹⁾			
	鋪			
	音孚 專	。宏韻「敷」に作る。		
並			音附 傳 ¹²⁾ ₂	
明		無禹 庶	音武 撫	
		音舞 撫		
來	力于 萋 ₂			
	萋			
	麤			

知		陟主 柱 竹主 柱 ₂		
微	丑于 軀			
精			卽諭 足 才諭 聚	
章	音朱 邾 ⁽¹³⁾		之戎 澍 音注 澍	
書	式榆 鄒			
常	上朱 朱 ⁽¹⁴⁾ 音殊 朱 ⁽¹⁵⁾ 爰	常主 祔		
羊	音俞 鄒 音踰 廠 隄	羊主 羸 音庾 羸 音愈 羸		
見	°居于 𩇑 °標点本「古」作𩇑。 味[按點記]張森楷校勘記謂居于疊韻、不爲反語「居」當爲「古」之誤、今據改。	°玄韻「𩇑」作𩇑 記禹 橘 音矩 矩 ⁽¹⁷⁾	紀具 懼 ⁽¹⁶⁾ 小懼 ⁽¹⁸⁾ 九具 小懼 ⁽¹⁹⁾ 紀住 小懼 ⁽²⁰⁾ 久住 懼	
溪		丘禹 齒 丘矩 {媽}		
羣	其于 胸	°玄韻「胸」作𩇑。		

	音 劬 濯		
	紂		
	句		
	° 脰	° 宏韻「脰」 ₁ 作 ₃	
	鈞 ²¹⁾		
疑	牛于 鋤		
	音 隅 隅		
曉	況于 盱 ₂	況羽 栩	
	火俱 盱	虛羽 誦	
	音 吁 盱 ₂		
影		衣宇 姬 ²²⁾	
于	音 于 杆 ₂		

- (1) 慮 (取慮縣... 628上7, 取慮縣名屬下邳郡 1058上1) [玄] 良居切 (來御開三).
- (2) 諏 (咨諏謀也 71上16) [玄] 子于切 (精虞合四) 謀也又子侯切. → 《韻類》.
- (3) 蒞 (卽巴莛一名芭蕉 867上4) [玄] 側魚切 (莊魚開二).
- (4) 沮 (沮陽縣屬上谷郡 1194上1) [玄] 子魚切 (精魚開四) 又將預 (精御開四) 七余 (清魚開四) 慈呂 (從語開四) 側魚 (莊魚開二) 四切.
- (5) 揄 (閃揄傾佞之貌也 1177下2) [玄] 羊朱切 (羊虞合四) 又以周 (羊尤開四) 度侯 (定侯開一) 徒口 (定厚開一) 三切.
- (6) 杼 (杼秋縣屬梁國 594下16) [玄] 直呂切 (澄語開三) 說文曰機之持緯者又神與切 (船語開三) 據也. → 《聲類》.
- (7) 居 (康居西域國也 1165上18) [玄] 居之切 (見之開三) 又九魚切 (見魚開三).
- (8) 吁 (孔安國注尚書曰吁者疑怪之聲也 235下1) [玄] 況于切 (曉虞合三) 歎也. 又王遇切 (于遇合三) 疑怪辭也. → 《韻類》.
- (9) 枹 (枹罕縣屬金城郡 1290下1) [玄] 防無切 (並虞合三) 枹罕縣名在河州... 又布交 (幫肴開二) 縛謀 (並尤開三) 二切. → 《聲類》.
- (10) 撫 (撫然怪之也 1189上14) [玄] 文甫切 (明慶合三) 撫然失意貌... 又武夫切 (明慶合三). 音注字「撫」は「撫」の誤字か.

- (11) 傳 (布也 635下1) [玄]方遇切(聲遇合三)。*敷。cf. 朱駿聲『說文通訓定聲』。
- (12) 傳 (本文:謹表其尤害於體者傳奏於左 511上7, 本文:後人皮傳無所容慕 852上14) [本]才。(10)。*敷。cf. (10)。
- (13) 邾 (縣屬江夏郡 119上8) [本]陟輸切(知慶合三)。
- (14) 朱 (其朱提界出銀 225下3) [玄]章俱切(章慶合三)。
- (15) 朱 (朱提縣屬犍爲郡 1278上5) [本]才。(13)。
- (16) 懼 (本文:太守懼然不敢復言 1242下5) [玄]具覽切(羣慶合三)又許縛切(曉慶合三)。*瞿 [本]九遇切(見遇合三)。cf. 『漢書』顏師古注。
- (17) 拒 (本名也 867上7) [玄]居許切(見語開三)拒柳。→《韻類》。
- (18) 懼 (本文:由安懼然不敢答 654上5) [本]其遇切(羣遇合三)怖懼。→《聲類》。
- (19) 懼 (本文:毋知其冒懼然改意 457上15, 本文:辭不肯受從事懼然而止 667下13) [玄] cf. (17)。→《聲類》。
- (20) 懼 (驚也 441上15) [玄] cf. (17)。→《聲類》。
- (21) 鈞 (鈞町西南夷也 1165下12) [玄]古侯切(見侯開一)。
- (22) 嫗 (嫗嫗猶嫗嫗也 1177上8) [玄]衣遇切(影遇合三)。*區 [玄]於武切(影慶合三)。cf. 『後漢書音義』注。

釐 攝

			廢	
滂			孚廢 柿	。百衲本「柿」小作「𣎵」 標點本に従い改める。 cf. [校勘記]「柿」原作 「柿」逕據殿本集解本校

臻 攝

	欣	隱	焮	迄
見			音斬 介	
羣	音勤 謹 ₃			
曉	音欣 訢 ₂	許近 然 ¹⁾		

後漢書音義音韻考

影		於謹 殷 ²⁾	於靳 隱 隱	
---	--	--------------------	-----------	--

	文	吻	問	物
滂 並	音芬 荼		符問 分 扶問 分	扶勿 拂 拂 扶弗 拂
明	音聞 閏 音汶 文 音文 蚊	亡粉 蚊 。公韻「閏」， ₁ 作 ₃ 。	音問 汶	
溪 羣				丘勿 龜 ³⁾ 求勿 屈 ⁴⁾ 其勿 屈 ⁵⁾ 渠勿 屈 ⁶⁾ 其物 屈 。公韻「屈」， ₁ 作 ₃ 。 許勿 數 許物 數
曉			。公韻「屈」， ₁ 作 ₃ 。	
影		於粉 組	於問 蘊	。公韻「蘊」， ₁ 作 ₃ 。 ... 俗作蘊。

(1) 愁 (杜預注左傳愁發語之音也。臣賢集張揖字詒愁笑貌也 859 F/3) [公] 魚觀切 (疑
震開三)。

- (2) 殷 (本文: 金山石林殷起乎其中 峨峨磴磴 ... 866下11) [玄] 於介切 (影秋開三) 又烏閑切 (影山開二).
- (3) 龜 (龜茲國居居延城去長安七千四百八十里 ... 694下17) [玄] 居追切 (見脂合三) 又居求切 (見尤開三). cf. 『標點本』 [校勘記] 今龜音丘勿反. 按.. 龜無入聲. 「勿」字疑譌.
- (4) 屈 (本文: 諸將皆庸人屈起 253上16) [玄] 九勿切 (見物合三) 又區勿切 (溪物合三). * 屈 [玄] 衢物切 (羣物合三). cf. 朱駿成 『說文通訓定聲』.
- (5) 屈 (屈起猶勃起也 342下1) [玄] cf. (4). * 屈 cf. (4).
- (6) 屈 (本文: 霸屈起而笑曰有是哉 1245下12) [玄] cf. (4). * 屈 cf. (4).

山 攝

	元開	阮開	願開	月開
見	居言 韃 ² 九言 韃 ⁵ 紀言 韃 ³			
羣		巨偃 捷 ¹⁾		其謁 揭 求謁 揭
影		音偃 匣 ² 音匣 鯨	於建 郢 僞 一建 僞	

	元合	阮合	願合	月合
幫	甫表 璠 ²⁾ 輻 幡			
滂	音幡 反 ² 音番 反		孚萬 嬖	• 玄韻「嬖」作「𤙖」.

並	音翻 反 ₄			
	方元 番	符晚 飯	。公韻「城」本作 ₅	扶發 ° 墜
	音煩 燔	扶遠 飯		
	音繁 蕃			
明				文伐 義
見				音厥 蹶

(1) 墜 (堅也 861上9) [公]居偃切 (見阮開三) 又渠焉切 (羣仙開三)。

(2) 璠 (本文: 卓犖朝廷使光祿勳宜璠 1040上6) [公]附袁切 (並元合三)。

宕 攝

	陽開	養開	漾開	藥開
幫 並	音方 放 音防 方	甫往 放 ₂		
知			直亮 長 ₃ 竹亮 張 知亮 張 丁亮 張	
徹	丑羊 俚 丑良 俚 ₃			
澄			直略 著	
精		。百納本(1301上9)は「驚」に作るが標点本に従い改	子亮 將	音爵 ° 鳥 ₂ ¹⁾

清 從 心	音牆 牆 音襄 瓊	如。味[校勘記]按。 惠棟謂段頴傳云「鳥音 爵」通鑑胡注「鳥讀曰 雀」今據此。		音鵲 芴
初			測 亮 滄	
章 書 常 羊	音嘗 嘗	。玄韻「餉」小作。 時掌 上 7 時丈 上 2 市丈 上 音養 漾	式上 餉	音酌 勺 音鑠 藥 ²⁾ 音躍 燭 音藥 杓
牽 疑		其兩 強 ³⁾ 彊	魚向 仰	

	陽合	養合	漾合	藥合
曉			。玄韻「瞿」小作。	許縛 瞿 ⁴⁾ 。瞿 ⁵⁾

- (1) 鳥 (鸞鳥縣名屬武威郡 956下15, 1301上9) [玄]都了切(端篠開四)。
 (2) 藥 (熱見也 861上6) [玄]以灼切(羊藥開四)。*藥²⁾ [玄]書藥切(書藥開三)灼藥。
 (3) 強 (本文：在所爲封長檄不欲勿強 977下18) [玄]巨良切(牽陽開三)。
 (4) 瞿 (說文曰瞿視遽之貌 602下7) [玄]居縛切(見藥合三)。*瞿⁵⁾ [玄]許縛切

(晚葉合三)大視見。

(5) 嘆 (𩇑 鑠勇貌也。東觀記作嘆哉是翁 368上7) [ㄊ]「𩇑」cf.(4).

流 攝

	尤	有	宥	
幫 並 明	必由 𩇑 ¹⁾ 音浮 𩇑 ₂ 𩇑 𩇑 𩇑 ₂ 音牟 𩇑		房又 復 音復 復	
來			力救 廖 {山琴} 留 廖 音溜 留	
徹 澄 娘	音抽 紬 直流 躊 直由 幬	音紬 𩇑 ₂ 尼丑 𩇑 ²⁾ 女九 𩇑 ₂	音曹 𩇑 𩇑	
精	子由 𩇑 𩇑		子救 𩇑	

清 從 心	音秋 取 ³⁾ 才由 蝮		七救 漱 ⁴⁾ 音秀 宿 ₂	
莊 生	側留 最 側流 聚 所由 廈 所流 洩	。広韻「洩」に作る	所救 漱	
昌 書 日 羊	昌猶 肇 音由 廠	式受 首 汝九 蹂	式救 首 ₂ 式授 守 以救 狔 羊救 鮪	。百衲本は「殺」に作るが 標点本に從い改める。 of. [校勘記] 據殿本改
見 溪 羣 曉 于	古由 糾 ⁵⁾ 居流 劉 ⁶⁾ 音丘 龜 ⁷⁾ 巨秋 璆 ₂ 音求 璆 ₂ 賕 音仇 璆 ₂ 音休 髹		其又 賕 ⁸⁾ 音又 右	

			祐	
--	--	--	---	--

- (1) 影 (影翅羽旄飛揚兒也 868上3) [玄]甫休切 (幫幽開四) 又甫遙 (幫宵開四) 所銜 (生銜開二) 二切。
- (2) 忸 (忸怩猶懷習也 … 爾雅曰忸復也 278上3) [玄]女六切 (娘屋開三)。
- (3) 取 (取慮縣 … 628上7, 取慮縣名屬下邳郡 1058上1) [玄]七庚切 (清庚合四) 又倉苟切 (清厚開一)。
- (4) 楸 (本文: 山谷蕭條原野山楸 < 注 > 亦蕭條兒也 870上12) [玄]親小切 (清小開四) 又在久切 (從有開四)。
- (5) 糾 (纏結也 859上7) [玄]居黝切 (見黝開四)。
- (6) 剽 (低回剽流回轉之兒 862上3) [玄]力竹切 (來屋開三)。
- (7) 龜 (龜茲縣名屬上郡 951下1) [玄]居追切 (見脂合三) 又居求切 (見尤開三)。
- (8) 賕 (以財相貸曰賕 612下8) [玄]巨九鳥切 (羣尤開三) 財賕。 < 『玄韻』に見えない又音 >。其又反 又音求。

咸 攝

	嚴	儼	釅	業
見 影				音劫 扶 ¹⁾ 於業 裏

	凡	范	梵	乏
並 明	音凡 帆	無犯 夔 ²⁾	扶汎 梵	
溪	丘凡 欽 ³⁾ 顛 ⁴⁾			

- (1) 扶 (本文: 獄鑿熊扶封穉 < 注 > 扶音劫。古字通 869上5) [玄]去劫切 (溪業開三) 又

去其(溪之開三)丘之(溪之開四)二切。*去力。cf.『後漢書音義』注。

(2) 突 (蔡邕獨斷曰金突者馬冠也高廣各四寸在馬鬣前 868上4) [本] 子紅切 (精東開一) 又作弄切 (精送開一) 。 * 銓² [本] 亡范切 (明范合三) 馬首飾西京賦云金銓鏤鏤。

(3) 欽 (頤額也欽頤曲額也 772下14) [本] 去金切 (溪侵開三) 。

(4) 頤 (欽頤曲額也 … 欽或作頤音同 772下14) [本] 魚檢切 (疑琰開三) 又直稔切 (澄侵開三) 。

IV 韻 類

蟹 攝

	齊開	齊開	齊開	
滂 並	片兮 批	步第 臂		
端 透 定 來	丁兮 氏 鞞 音梯 ⁰ 鵠 達奚 鯁 音蹄 駢	。左韻「鵠」上作6。 音禮 蠹	音帝 蝦 他計 髻 ¹⁾ 徒計 欽 音戾 盤	
精 清 從	子兮 靡		七計 妻 才計 齊	
見			音係 系 ²⁾ 音髻 結 ³⁾ ₂ 音計 紒 ⁰	。左韻「髻」上作6。

溪		音 啓 稽	
曉	火 兮 醢	。宏韻「醢」に作る	
匣			胡計 系
影	一 兮 驚		於計 殄
	烏 兮 緊	。標本「憑」に作る cf. [校勘記] 據梁竦傳改	憑 一計 憑 烏計 杵

	齊合	齊合	齊合	
見	音 圭 桂			
溪	苦 圭 剗			

- (1) 髻 (謂剃去髮也 504上4) [玄] 思積切 (心音開四) 。 *髻 [玄] 他計切 (透塞開四) 。 cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (2) 系 (本文：ハム子系十二爲期 225下14) [玄] 胡計切 (匣塞開四) 緒也又姓。楚有系益。 < 『宏韻』に見えない又音 > 。 音係 胡計反。
- (3) 結 (本文：於是女解去衣裳爲僕鑒之結 1268上1, 本文：椎結左衽錄鑑之君 1168上6) [玄] 古屑切 (見屑開四) 。 *髻。 cf. 『漢書』顏師古注。

山 攝

	先開	銑開	霰開	屑開
羣		補典 扁		
並	蒲堅 便 ¹⁾	皮殄 扁		
	步田 軒	蒲殄 辯		
端	丁田 滇			

透	丁千 顛		。百納本字体不鮮明。 標点本に據り補ふ。	佗結 ²⁾ 校
定	音田 闕			徒結 跌
泥	石眞	乃典 忍	。左讀「涅」に作る。	奴結 ³⁾ 涅
精	子田 湍		子見 濺 ³⁾ 。左讀「嵯」に作る。	才結 ⁴⁾ 嵯
從			先見 先	
心				
溪			苦見 俱	口結 鏗
疑			牛見 研	五結 薛
			音硯 研	
匣			胡殿 見	下結 頤

	先合	銑合	霰合	屑合
見	工玄 注 ⁵⁾ 公玄 注 ⁷⁾	工大 綸 ⁶⁾		音決 趺 駃
溪				苦穴 闕
匣	音玄 玄 ₂ 縣 ₃ 音懸 縣	胡犬 纒 ₂ 注	音縣 眩 ₂ 音眩 眴	音穴 次 ⁸⁾
影				於決 扶

- (1) 便 (本文: 邊孝先腹便便 1175上8) [広] 房連切 (並仙開四) 又婢面切 (並線開四) → 《韻類》。
- (2) 稅 (說文曰稅大杖也 1188下18) [広] 他骨切 (透沒合-) 又他括 (透末合-)。戰稅 (章薛合三) 二切。
- (3) 濺 (本文: 殺傍侍者血濺后衣 188上4) [広] 子賤切 (精線開四) 濺水, 又則前切 (精先開四)。→ 《韻類》。
- (4) 蔑 (蔑薛山一名差載 … 432下10) [広] 「蔑」士限切 (崇產開二)。
- (5) 玄 (法氏縣名屬上黨郡 327下15) [広] 胡咄切 (匣銑合四)。尚「標点本」は「工玄反」と「五玄反」の誤りとする。cf. [校勘記] 據汲本、殿本改, 按..原作「工玄反」疑是「五玄反」之誤。(正文中に改められた反切は「胡涓反」)。
- (6) 綃 (繫也, 與冑通 868下3) [広] 吉操切 (見線合四)。* 冑 cf. 『後漢書音義』注。
- (7) 玄 (法氏故城今澤州高平縣也 752下15) [広] cf. (5)。
- (8) 汎 (回汎猶攜互不齊一也 739上18) [広] 呼決切 (曉屑合四)。

效 攝

	蕭	篠	嘯	
端	音彫 刁			
透	太堯 佻	它鳥 篠		
定	音條 篠 ¹⁾	徒了 挑 ²⁾		
泥		寧了 燒	奴弔 ° 溺	° cf. 広韻: 尿, 奴弔切 …或作溺
來	力凋 彫 ²⁾	音了 蓼	力弔 燎 ³⁾	
	力彫 繆	緯	廖 ⁴⁾	
	音遼 颯 ⁵⁾			
心	音肅 瀟			
見	古堯 徼	公鳥 ° 皛	吉弔 徼	° 標点本「皛」に作る。 cf. [校勘記] 據殿本改
	工堯 徼	皎		
溪	苦堯 鄒			

	𦍋 𦍋 鄴	。玄韻「𦍋」に作る。		
匣 影		胡了 芍 於皎 要 ⁶⁾		

- (1) 𦍋 (脩今德州縣也…脩今作𦍋 184下11) [玄] 他歷切 (透錫開四) 。 * 條 cf. 『史記・集解』注。
- (2) 𦍋 (說文曰𦍋力并力也 1050下17) [玄] 力求切 (來尤開三) 并力也。又力救 (來宥開三) 并力。力竹 (來屋開三) 𦍋力并力也。二切。 < 『廣韻』に見えない文音 > か。力洞反又音六。
- (3) 燎 (本文：燔燎告天 < 注 > 天高不可達故燔柴以祭之… 27下15) [玄] 力照切 (來笑開四) 照也。一曰宵田又放火也。又 力昭 (來宵開三) 力小 (來小開三) 二切。 → 《 韻類 》。
- (4) 廖 (本文：廖湛復聚聚千餘人 193上10, 本文：後北地太守廖信… 1156上16, 本文：廖扶字文起… 1216下16, 本文：太守廖析奔走 1270下6) [玄] 落蕭切 (來蕭開四) 又力救切 (來宥開三) 。
- (5) 𦍋 (本文：有或汨𦍋庚沛以問象兮 862上7) [玄] 力救切 (來宥開三) 又力求切 (來尤開三) 。 * 𦍋 [玄] 落蕭切 (來蕭開四) 。 cf. 桂馥『說文解字義證』。
- (6) 要 (呂氏春秋曰要褻古之駿馬也 854上4) [玄] 於宵切 (影宵開四) 又於笑切 (影笑開四) 。 * 𦍋 [玄] 烏皎切 (影篠開四) 。 cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。

梗 攝

	青開	通開	徑開	錫開
滂 並 明	薄丁 𦍋 音𦍋 冥	步鼎 併 。標点本「𦍋」に作る。		普歷 辟 ¹⁾
端 透				丁歷 適 音的 適 它狄 適 ²⁾ 邊

定 泥 来	大寧 挺 音零 °冷 ₂ 軫 令 ₄ 櫛 音靈 令	。百衲本(1271下16)「令」 に作るが標点本に従い 改める。	力定 令	他狄 剔 奴覲 怒 音櫟 麗
清				音戚 碇
見 匣		邢鼎 倅 胡鼎 滓		古覓 湜 胡歷 現

	青合	迴合	徑合	錫合
影		烏迴 °澄 ³⁾	。広韻「滌」に作る。	

- (1) 辟 (史記曰霹靂陽氣之動也 88/上6) [玄] 必益切 (幫音開四) 又芳辟 (滂音開四)
房益 (並音開四) = 切。 * 霹 [玄] 普擊切 (滂錫開四)。cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (2) 搥 (搥猶發也 43/上11) [玄] 直夷切 (澄音開三)。 * 搥 [玄] 他歷切 (透錫開四)。
cf. 朱駿成『說文通訓定聲』。
- (3) 滌 (淵滌小貌也 1164/下6) [玄] 「滌」余傾切 (辛清合四)。 * 滌[?] [玄] 烏迴切 (影
迴合四) 泔滌。

咸 掇

	添	忝	榛	帖
--	---	---	---	---

北大文学部紀要

端			丁念 塾 ₂	
定				徒協 塾
				徒頰 牒
				音牒 牒
溪		苦葦 慊		
匣				音叶 勰